

シェアリングエコノミー活用推進事業
成果報告書

平成31年3月

犬山市 経営部 企画広報課

目 次

1. 事業の背景と目的	
(1)事業の背景	1
(2)事業の目的	1
2. 事業内容	
(1)概要	2
(2)推進体制	5
(3)現地調査	8
(4)戸別訪問	9
(5)各種研修会及び説明会	12
3. 事業成果と課題	
(1)推進体制	14
(2)現地調査	14
(3)戸別訪問	15
(4)各種研修会及び説明会	16
(5)事業全体	17
4. 各種調査結果と結果分析	
(1)Web アンケートによるニーズ調査結果	19
(2)説明会参加者アンケート調査結果	29
(3)サービス提供者(土地所有者)調査結果	29
(4)サービス利用者調査結果	30
5. 駐車場シェア以外の取組み	
(1)事業内容	35
6. 今後の展開	36
参考資料	
別添1 戸別訪問時持参資料	38
別添2 Web アンケート設問内容	41
別添3 10/26 説明会配布アンケート	43
別添4 12/21 説明会配布アンケート	44
別添5 サービス提供者向けアンケート	45
別添6 広報犬山(平成30年10月15日号)掲載紙面	46
別添7 サービス利用者向けアンケート	47

1. 事業の背景と目的

(1)事業の背景

犬山市は国宝犬山城や城下町などの歴史的資産をはじめ、木曾川、東部丘陵に広がる里山などの水と緑の豊かな自然環境に恵まれた観光都市である。近年は犬山城及び周辺の城下町を中心に観光客が増加傾向にあり、平成30年の犬山城年間入場登閣者数は過去最高の60万人を突破した。

観光客が特に増加する観光ハイシーズン時には、城下町及び大規模観光施設周辺の近隣駐車場が軒並み満車状態となり、幹線道路を中心に交通渋滞が発生するなど、観光地としての魅力減退の一因となっている。

また、幹線道路を中心に発生する慢性的な交通渋滞に巻き込まれる懸念から、周辺住民が外出を控えるなど、市民生活にも影響が及んでいる。

土地利用の観点から見ると、犬山市の市街化区域は1,057haと市全体の14.1%に限られているにも関わらず、市街化区域内での都市的低未利用地は38haに及んでいる。大勢の観光客が来訪した日は既存の駐車場では対応できなくなっているが、中心市街地に存在する空きスペースの多くは十分に利活用されていない現状がある。

(2)事業の目的

個人や事業所等が所有する空きスペースを観光客等の駐車場として活用することによって、駐車場不足の解消を図る。また駐車場不足に伴う交通渋滞の緩和とともに、周辺の交通渋滞悪化に伴って発生する地域住民のストレスの軽減や、市内の消費活動促進による地域経済の活性化を図る。

また本事業をとおして市民のシェアリングエコノミーに対する認知度を高めることで、各方面へのシェアリングサービス導入の契機とする。

【図表1】犬山市の位置



2. 事業内容

(1) 概要

本事業を実施するにあたり、まずは対象となる地域の設定から行った。本事業を展開する地域は、人が集まる観光地周辺に位置し、一定の駐車場ニーズが見込まれることが望ましい。そうした観点から、観光ハイシーズン時には近隣駐車場が軒並み満車状態となり慢性的な交通渋滞が発生する城下町を中心とした地区と、主に家族連れ等に人気の大規模観光施設がある丸山地区を本事業の対象地域として設定した。なお交通渋滞防止や歩行空間の動線確保の観点から城下町の中心部は対象地域外とし、城下町周縁部を対象とした。

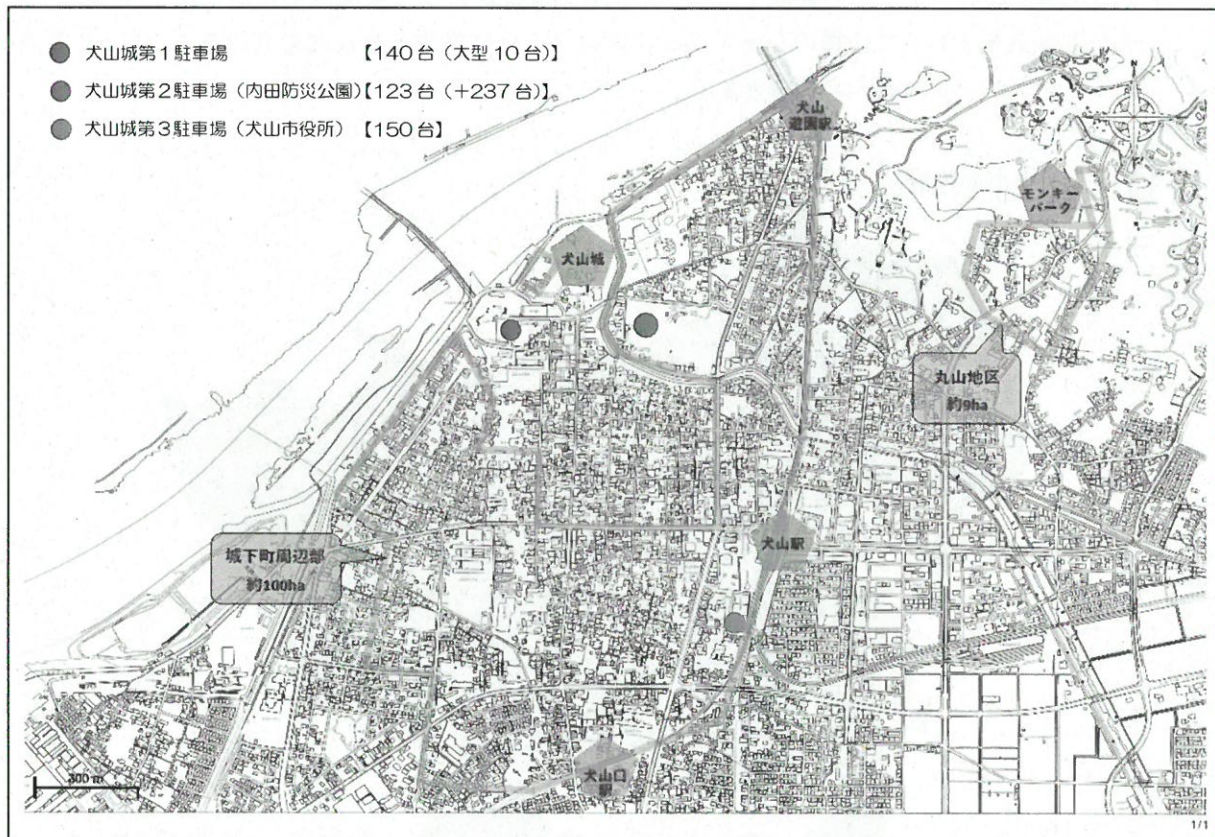
まず地図上で駐車場の候補地を拾い、現地調査を実施。集積した土地のデータを3段階で評価し、上位2段階の評価を受けた候補地に対し戸別訪問による登録促進活動を行った。

また広報紙による周知やご近所SNS「マチマチ」の活用のほか、市民や各種事業所等を対象に、シェアリングエコノミーや駐車場シェアに関する説明会を複数回開催した。

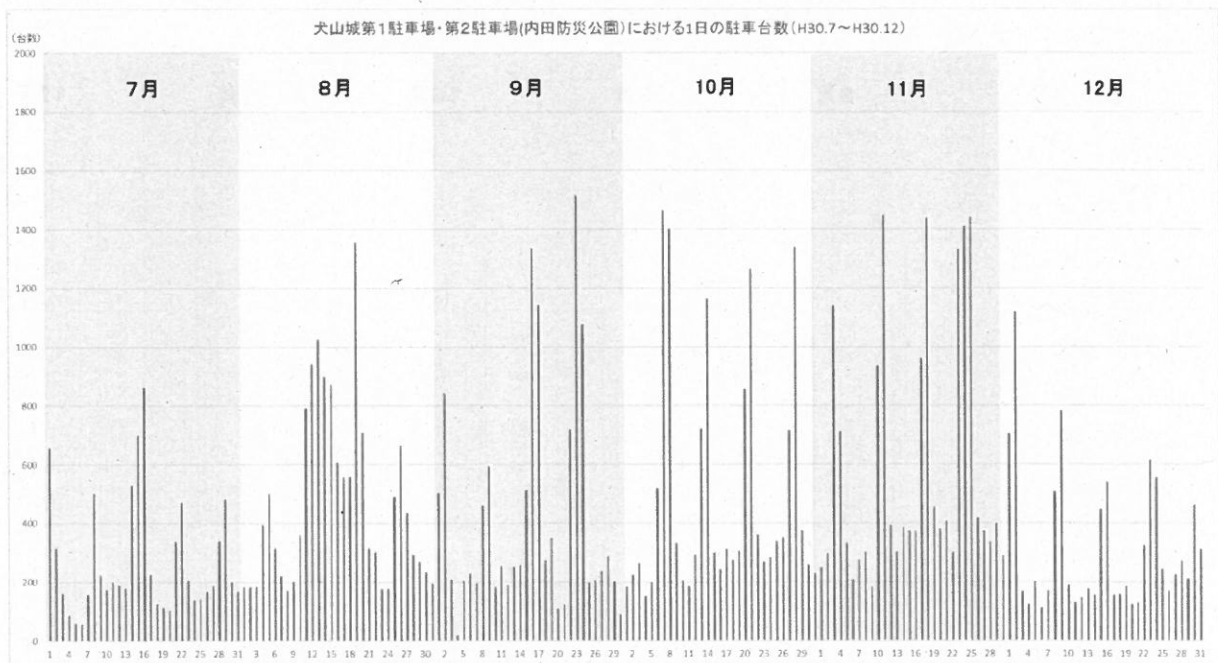
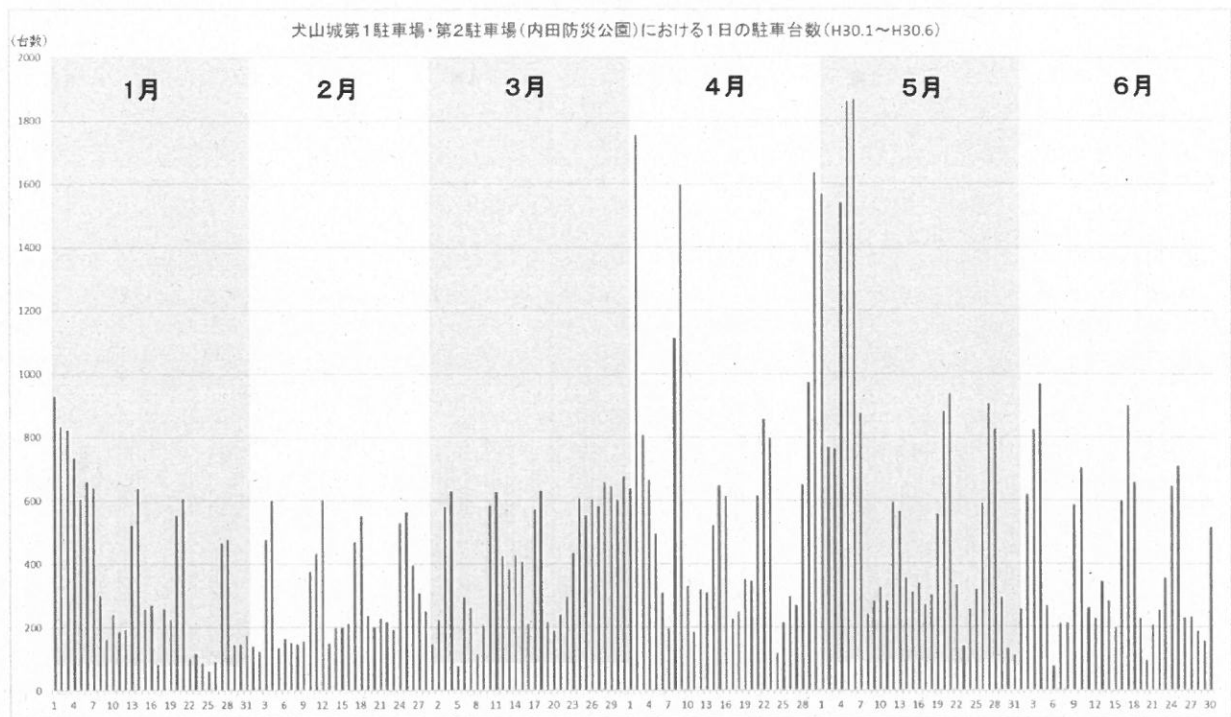
土地所有者と駐車場を利用する観光客等をつなぐ仕組みとして、軒先パーキングを活用し、犬山市観光協会のHP上で周知した。

またwebアンケートによるニーズ調査や、各種説明会参加者、サービス提供者及びサービス利用者に対するアンケート調査を実施し、関連データを収集した。

【図表2】事業対象地域

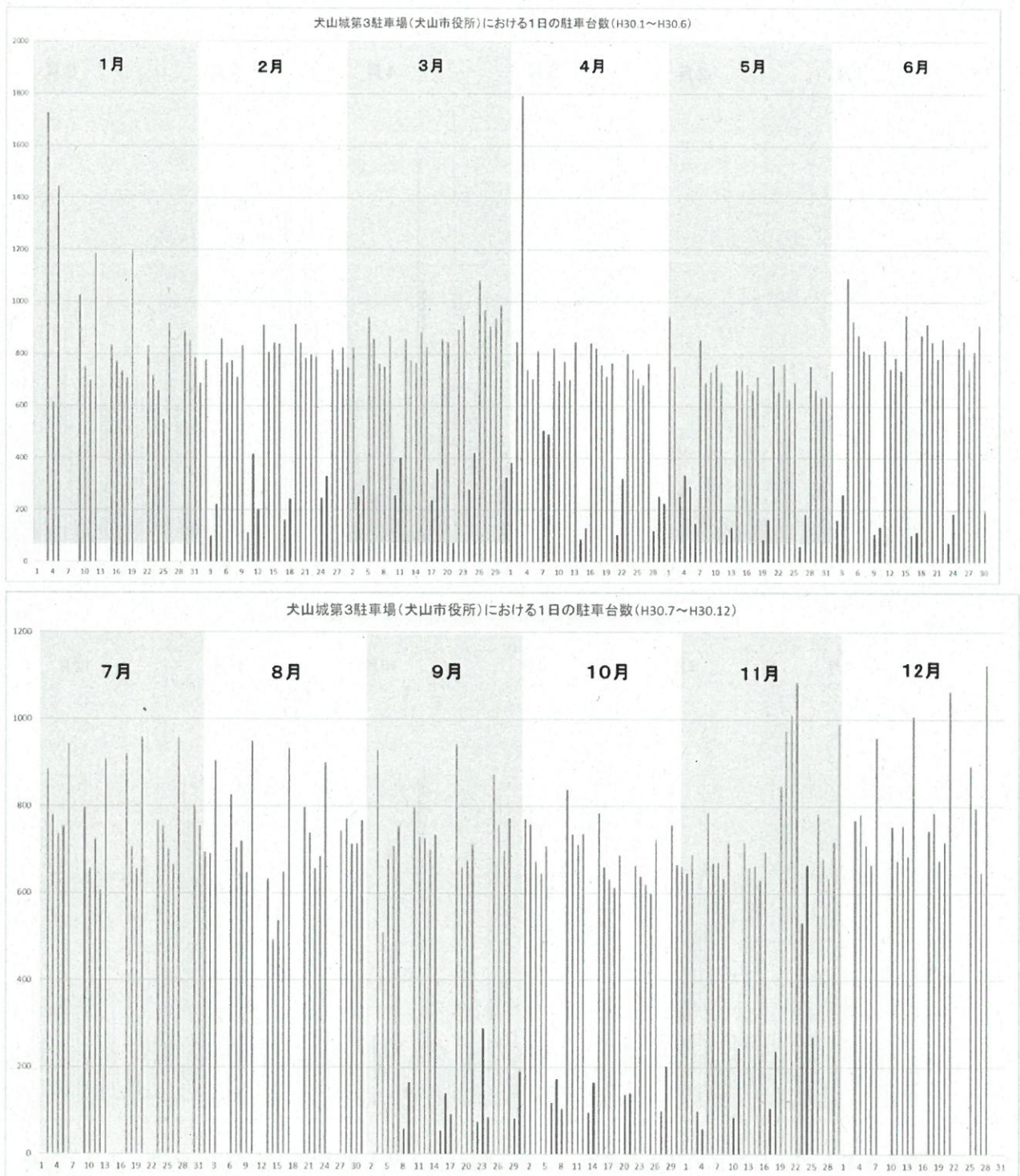


【図表3】平成30年の犬山城第1・第2駐車場利用状況（土日祝日は赤線）



- ・年間をとおして土日祝日の利用が多く、3月下旬から4月上旬までの春の桜の時期、5月の連休、9～11月の秋の時期に利用が集中している。特に春の桜の時期は平日の利用も多い。
- ・平日は月曜日の利用が多い傾向にあり、週によっては休日より利用数が多いこともある。

【図表 4】平成 30 年の犬山城第 3 駐車場（犬山市役所）利用状況（土日祝日は赤線）



・犬山城第 1・第 2 駐車場は土日祝日の利用が多かったが、犬山城第 3 駐車場（市役所駐車場）は市役所が開庁している平日の方が利用が多い。



▲犬山城第1駐車場



▲犬山城第2駐車場（内田防災公園）

(2)推進体制

【犬山市】

総務省から委託を受け、事業全体の進捗管理や各種関係機関との調整を図った。

【中間組織：犬山市観光協会】

本業務を効果的に遂行するためには、犬山市の地域の実情に関する十分な知識及び経験に加え、多様な関係機関と観光関係者間の連絡・調整を的確に行う能力が求められる。犬山市観光協会は、設立以来犬山市及びその周辺の地域資源を活用しながら観光産業の振興を図るとともに、犬山市の魅力を高め、国内外の人々との交流を促進することで、地域文化の維持発展及び地域産業の発展向上に寄与することを目的として活動している。

そうした背景から本事業全体の中核的な存在として犬山市観光協会が適切であると考え、犬山市から委託を受け主な実務を行う中間組織として選定した。

【プラットフォーム：軒先株式会社】

プラットフォームには、「軒先パーキング」を運営する軒先株式会社を選定した。駐車場シェアを展開するプラットフォームは複数社あるが、その中でも軒先株式会社は老舗であり、駐車場シェアに関して多くのノウハウを蓄積している。同業他社と比較し仲介手数料が安価なこと、駐車場用途以外での利用が可能な「軒先ビジネス」を展開している点などを考慮した上で判断した。

また、軒先パーキングの利用には、他の類似するプラットフォームに比べ名前や住所など、詳細な個人情報の登録が必須になっている。個人情報の登録は当て逃げやゴミ捨てなどマナーの悪いサービス利用者の行動抑止の効果が期待でき、サービス提供者の心理的な安心感にもつながることを考慮した。

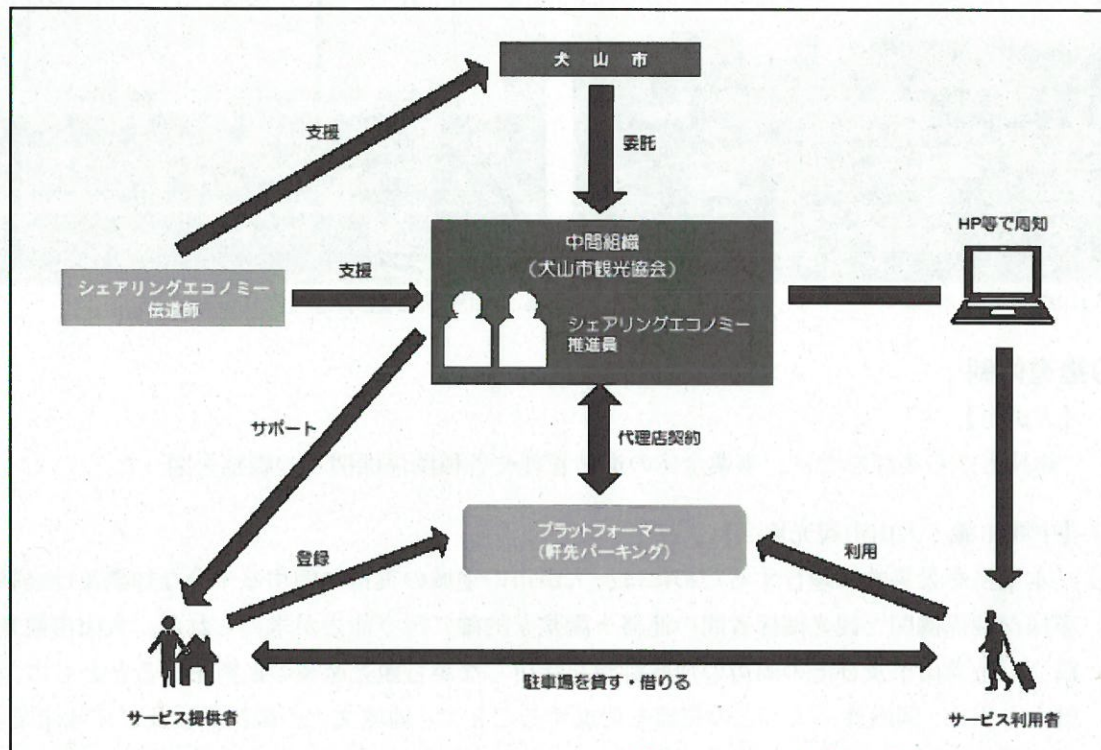
【シェアリングエコノミー伝道師（特定非営利活動法人 価値創造プラットフォーム 代表理事：石崎方規氏）】

犬山市は他先進地域と比べて、市民だけでなく市役所及び市観光協会の職員間においてもシェアリングエコノミーの認知度が低い。そのため事業の効率的な推進のためには、シェアリングエコノミーに関する豊富な知識と経験を有する専門家の協力が必要不可欠である。

シェアリングエコノミー伝道師の石崎氏は、シェアリングエコノミーに関する豊富な知見を有していることに加え、低未利用スペース活用に関する事業実績を有している。以上の理由か

ら、石崎氏を本事業に関する適切な指導や助言を行うアドバイザーとして位置づけ、連携を図った。

【図表5】推進体制イメージ図

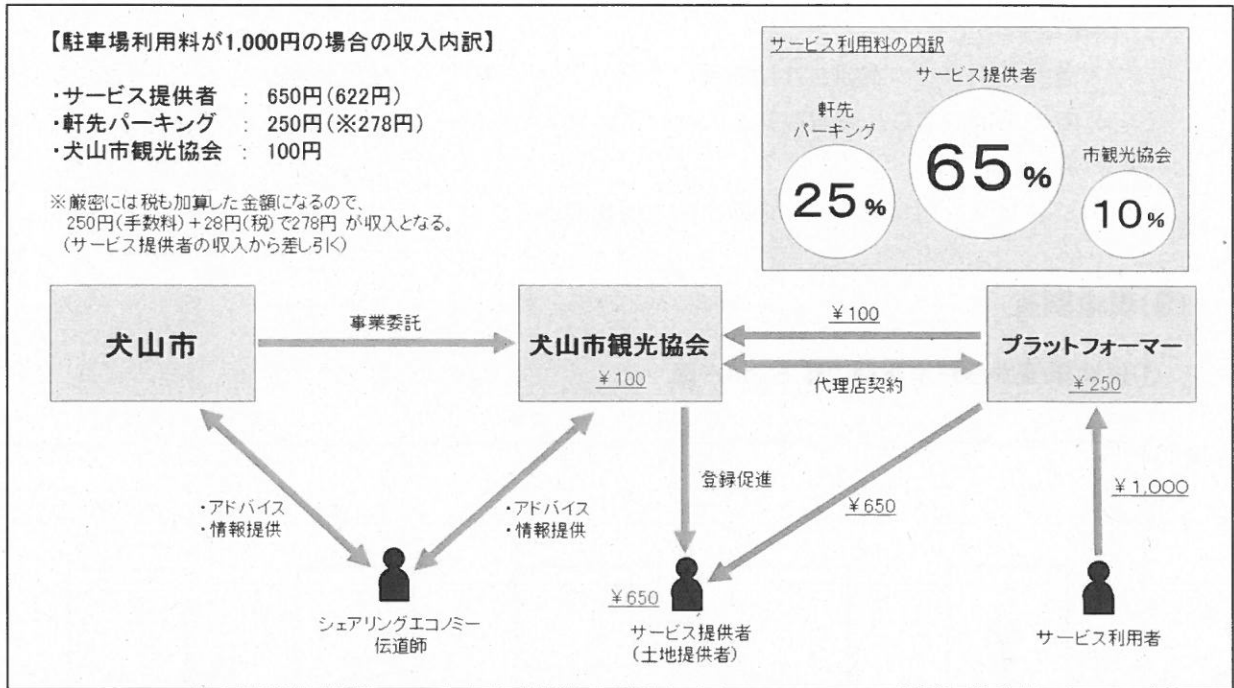


①推進体制の構築

効率的な推進を図るため、本事業実施期間内では実務を務める推進員を2名雇用した。本事業実施中は、犬山市と犬山市観光協会による定期的な打合せを行い、進捗状況や今後の方針について随時情報共有を図った。

なお犬山市観光協会とプラットフォームの間では代理店契約を締結し、犬山市観光協会の取組みにより登録された駐車場が利用された際には、利用料の10%が犬山市観光協会の収入として発生する仕組みとした（詳細は図表6を参照）。

【図表6】 駐車場が利用された際の収入・支出イメージ



②役割分担

【犬山市】

- ・総務省との契約をはじめとした各種連絡・調整
- ・事業全般の進捗管理

【中間組織（犬山市観光協会）】

- ・駐車場候補地を地図上で抽出
- ・対象範囲内の土地利用状況を調べる現地調査
- ・土地所有者に対する戸別訪問
- ・各種説明会の準備等に関する事務作業及び当日の対応
- ・サービス提供者のフォロー
- ・各種関係機関との調整

【プラットフォーム（軒先株式会社）】

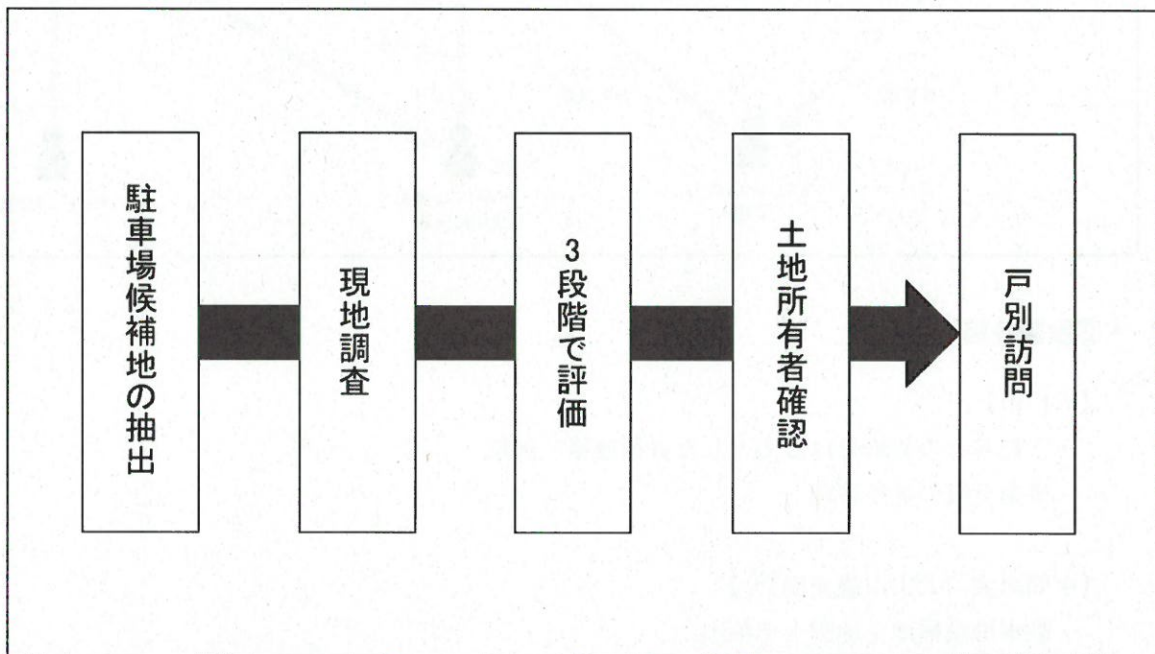
- ・「軒先パーキング」全般に関する対応
- ・各種説明会への講師派遣
- ・サービス利用者へのアンケート調査実施
- ・サービス利用者の属性に関するデータとアンケート結果を、犬山市観光協会へ提供

【シェアリングエコノミー伝道師（特定非営利活動法人 価値創造プラットフォーム 代表理事：石崎方規氏）】

- ・各種説明会での講演または助言
- ・市の実情に応じた適切なシェアリングエコノミーサービスの提案及びプラットフォームの紹介
- ・シェアリングエコノミー全般に係る情報提供

(3)現地調査

①現地調査から戸別訪問に至るフロー図



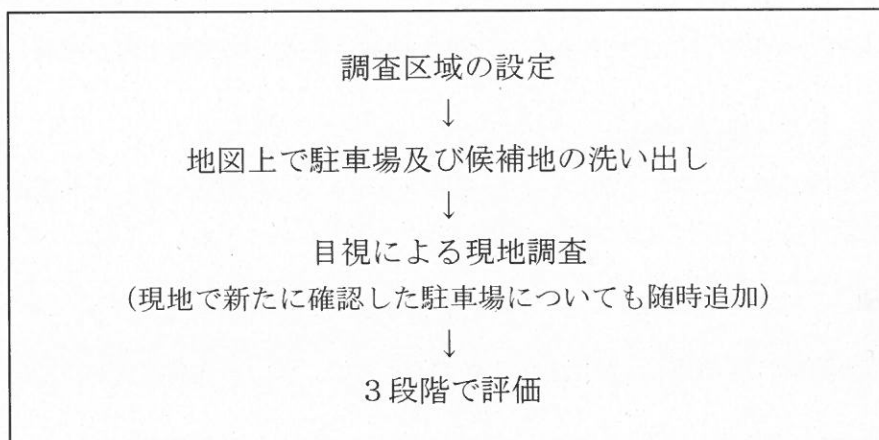
②調査対象及び調査項目

月極め、賃貸、マンション、商業施設等の駐車場や駐車場として利用が可能な空きスペースを調査対象とした。時間的な制約があるため、個人住宅の駐車場については今回対象外とした。

調査項目は軒先パーキングの登録フォームに対応させるため、下記のとおり設定した。

1. 駐車場の種別
2. 屋根の形態
3. 駐車場の現状
4. 駐車場の形状
5. 駐車区画の有無
6. 面積
7. 接道状況
8. 現状の写真
9. ABCでランク付け（戸別訪問の指標となる）

③現地調査の実施手順



<城下町周縁部>

I. 調査区域の設定

城下町中心部への車の流入による交通渋滞の解消や城下町を巡る観光客の歩行者空間を確保するため、城下町の中心部を除く周縁部約100haを調査区域と設定した。

II. 現地調査

上記対象地域を、推進員2名が調査。およそ2カ月で、270か所の駐車場及び候補地を調査した。



▲現地調査（城下町周縁部）

<丸山地区>

I. 調査区域の設定

大規模観光施設への道路沿線にある、徒歩20分圏内かつ、既に駐車場として活用、もしくは活用可能性のある土地を含む約9haを調査区域とした。

II. 現地調査

上記対象地域を、推進員2名で調査。3日間で13件の駐車場を調査した。

(4)戸別訪問

①対象の選定

期間的な制限がある中で効率的に事業を推進していくため、現地調査を実施した土地の中から戸別訪問が有用だと思われるものを選定し、戸別訪問を実施した。なお選定の際に数値的な基準を定めないことで、推進員の経験や現場の感覚を踏まえた上で総合的に対象地を選定することとした。具体的には(3)②で挙げた調査項目に加え、

・観光地から見た利便性

・協力の可能性

(すでにコインパーキングとして使われていたり、地域に根差した事業主等が所有したりしているか等)

などの観点から、ABCの3段階で評価した。

まず戸別訪問の有用性が極めて高いと思われる駐車場をAランク、有用性が低いと判断したものをCランクとし、それ以外についてはBランクと評価した。

②土地所有者の調査

犬山市が調べた駐車場及び候補地の土地所有者の情報をもとに、犬山市観光協会が戸別訪問先のリストを作成した。

③戸別訪問時の対応

戸別訪問時には、駐車場シェアを分かりやすく理解するために作成した資料と、駐車場シェアと説明会の開催案内を掲載した市広報紙のコピーを持参した。

土地所有者に面会した際は、シェアリングエコノミーや本事業についての説明を行った。その土地が未利用スペースである場合には、所有する土地をプラットフォームに登録することで駐車場として利活用できることを説明するとともに、説明会の案内を行った。

土地所有者の反応・意向に応じて、プラットフォームのパンフレットや申込書などを持参の上、複数回の訪問を実施し、登録の促進に努めた。

Aランク、Bランクの評価を受けた土地所有者に対して戸別訪問を行った。また土地の分筆等により複数の土地所有者がいる時は、必要に応じて複数の土地所有者を訪問した。A～Cランクに振り分けた候補地数と実際の戸別訪問数はそれぞれ以下のとおりである。

I. 城下町周縁部

	ランク別候補地数	戸別訪問数
Aランク	17	18
Bランク	19	19
Cランク	234	—

AランクとBランクを合わせた37か所について戸別訪問を行った。

II. 丸山地区

	ランク別候補地数	戸別訪問数
Aランク	—	—
Bランク	11	11
Cランク	2	—

Bランクの11か所について戸別訪問を行った。

詳細な位置等は図表7を参照。

【図表7】戸別訪問を実施した空きスペース分布図（城下町周辺部及び丸山地区）



④訪問記録の作成

戸別訪問後は、駐車場の利用状況や土地所有者及び家族の対応、登録意向などを記した訪問記録を作成し、次の訪問や登録へのフォローに活用した。

(5)各種研修会及び説明会

下記のとおり対象者別に、各種研修会及び説明会を開催した。

【行政職員対象】

担当課だけでなく庁内各課でもシェアリングエコノミー活用の可能性を広く探るため、下記研修会を開催した。

①「第1回シェアリングエコノミー研修会」

日時：平成30年7月3日(火) 午前10時30分～午前11時30分

場所：犬山市役所

講師：内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 石崎方規氏

内容：シェアリングエコノミーの概念や仕組みについて、具体的なサービスの内容を例に出しながら説明した。

②「第2回シェアリングエコノミー研修会」

日時：平成30年8月28日(火) 午前10時30分～午前11時30分

場所：犬山市役所

講師：株式会社マチマチ 代表取締役CEO 六人部生馬氏

内容：ご近所SNS「マチマチ」の展開事例や活用方法について説明した。

③「第3回シェアリングエコノミー研修会」

日時：平成30年10月26日(金)

午前9時30分～午前10時30分

場所：犬山市役所

講師：軒先株式会社 事業開発部 菅原太氏

内容：駐車場シェアの展開事例や活用方法について説明した。



▲第3回シェアリングエコノミー研修会

【市民対象】

シェアリングエコノミーや駐車場シェアに関する認知度の向上とサービス提供者増加を図るため、市民を対象に下記説明会を開催した。

④「シェアリングエコノミーと駐車場シェアに関する説明会」

日時：平成30年10月26日(金)

午後1時30分～午後3時

場所：犬山市福祉会館

講師：内閣官房シェアリングエコノミー伝道師



▲市民に向けて駐車場シェアを説明

石崎方規氏

軒先株式会社 事業開発部 菅原太氏

内容：シェアリングエコノミーの概念や仕組みについて、具体的なサービスの内容を説明し、駐車場シェアの展開事例や活用方法について紹介した。

【「地方創生にかかる包括連携協力に関する協定」締結先機関(市内金融機関・犬山商工会議所)対象】

市内金融機関や犬山商工会議所にも本事業を周知し、取引先の個人や事業者、商工会議所会員への紹介を図るため、下記説明会を開催した。

⑤「シェアリングエコノミーと駐車場シェアに関する説明会」

日時：平成30年12月21日(金) 午前10時～午前11時

場所：犬山市役所

講師：軒先株式会社 事業開発部 菅原太氏

内容：駐車場シェアの仕組みを説明し展開事例や活用方法について紹介した。

【犬山青年会議所対象】

若い世代の会員で構成される犬山青年会議所はITリテラシーが高く、会員の多くが経営に携わる立場であるため、休業日などに空いている従業員駐車場などを駐車場シェアの仕組みで活用できる可能性を見込み、下記説明会を開催した。

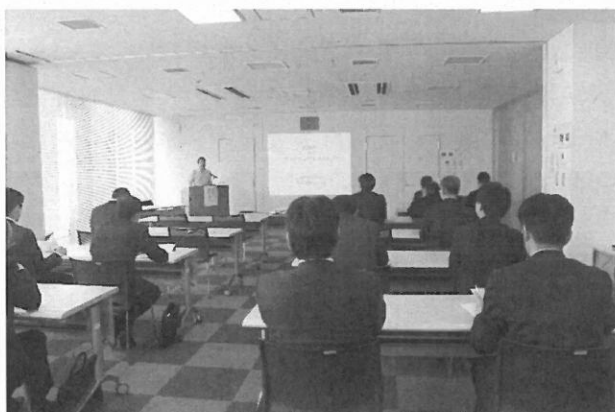
⑥「シェアリングエコノミーと駐車場シェアに関する説明会」

日時：平成30年12月21日(金) 午後7時～午後8時

場所：楽田ふれあいセンター

講師：軒先株式会社 事業開発部 菅原太氏

内容：駐車場シェアの仕組みを説明し展開事例や活用方法について紹介した。



▲市内金融機関・犬山商工会議所対象説明会



▲犬山青年会議所対象説明会

3. 事業成果と課題

(1) 推進体制

① 成果

- ・ 中間組織の犬山市観光協会は城下町周縁部の土地所有者に関する過去の経緯や事業所に精通している。またこれまで培ってきたノウハウや人脈を活用することで、新しい制度であるシェアリングエコノミーについて説明する際も一定の信頼感と理解を得ることができた。
- ・ 犬山市は、春や秋の観光ハイシーズン時はもちろん、年間をとおして観光客が訪れる地域であるため安定した駐車場需要が見込める。その意味でも駐車場シェアとの親和性が高い地域であり、今後より一層本事業が普及していく可能性がある。
- ・ 長年まちづくりに携わり犬山市の実情を深く理解している元犬山市職員と、ITスキルが高く事務処理能力に長けた人材を推進員に雇用したことにより、歴史が深く様々な事情を考慮しなければならない城下町での戸別訪問なども効率的にすすめることができた。
- ・ 中間組織とプラットフォーマーの間で代理店契約を締結したことで、利用がある毎に犬山市観光協会にも一定の収入が入るスキームを構築することができた。

② 課題

- ・ 今回は推進員2名を雇用し事業を実施することができたが、この体制は本年度限りである。登録に至ったケースはいずれも戸別訪問がきっかけであり、駐車場利用料の1割が犬山市観光協会の収入となるが、現在の登録件数では人件費をまかなえるような見込みはない。駐車場シェアのより一層の普及に向けた活動や、サービス提供者に寄り添ったフォローが可能な体制づくりが必要。
- ・ 軒先株式会社は都内のプラットフォーマーであるため、事故などトラブルが起こった際に、直接対応できないという面で懸念がある。
- ・ プラットフォーマーから、積極的に営業活動を行い登録駐車場の増加につなげたいという意向があったが、これまでにプラットフォーマーが営業を行ってきたスタジアム等の大規模収容施設近隣地域等の事例に比べると、独特な地域性や土地所有者の年代等に大きな違いがある。そうした地域の特性から、サービスの浸透には一定の時間を要する。

(2) 現地調査

① 成果

<犬山城下町地区>

- ・ 現地調査において調査対象区域内の駐車場及び候補地 270 か所を確認した結果、駐車可能台数は約 4,200 台でおよそ 4 割が月極駐車場であった。それに対し、観光客が利用できる時間貸し駐車場は 540 台ほどであった。

<丸山地区>

- ・ 現地調査において調査対象区域内の駐車場は 13 か所確認できた。駐車可能台数は約 300 台で、およそ 1 割が月極駐車場であった。それに対し、観光客が利用できる時間貸し駐車場は 220 台ほどであった。

<現地調査全体の評価>

- ・クラウドサービス(kintone)を活用することで、現地調査や事務作業、データ共有の効率化につながった。

②課題

- ・平日の日中は空いていても実際は契約が埋まっている月極駐車場など、目視による現地調査で確認したことと実際の利用状況とは乖離がある場合がある。正確な実態を把握するためには、調査日時を変えた複数回の現地調査が必要になる。
- ・限られた期間の中で効率的に実績を上げるためには、戸別訪問する駐車場の選定が重要である。そのため一定の基準は設けつつも推進員の経験や現場の感覚も踏まえたうえで、駐車場を選定する必要があった。今回は時間的な制約から個人住宅の駐車場は調査対象外としたが、むしろそのような小規模な駐車場こそ本事業との親和性が高い可能性がある。プラットフォームによると、プラットフォームへの登録の中心も個人住宅規模の土地所有者であるとのことで、小規模土地所有者に向けた効果的な周知方法の検討が必要。

(3)戸別訪問

①成果

- ・まだ一部ではあるが、一般市民の駐車場不足や交通渋滞の解消に関する犬山市の課題意識、またシェアリングエコノミーの概念そのものに対する一定の理解にはつながった。
- ・土地所有者は、金銭的な面より地域貢献に対する意識が高い方が多かった。そのため犬山市が抱える課題に共感していただける方も多く、それが駐車場登録に至る大きな要素となった。
- ・土地所有者によっては犬山市や犬山市観光協会の役員などから最初のアプローチをかけた方が有効だと思われる場合は、その都度柔軟に連携・対応した。

②課題

- ・事業所等が所有する大規模な駐車場を登録することができれば、観光ハイシーズン時にはまとまった台数の収容が見込めるため、今回は事業所を中心に戸別訪問を実施した。対象地区内の事業所の洗い出しから、事業の周知、協力意向の確認まで行うことができたが、今回の手順で戸別訪問を進める際には、事前に土地所有者を調べるために相応の人手と時間を要することが判明した。
- ・丸山地区は家族連れなどに人気の大規模観光施設があり、休日などには一定の駐車場ニーズがあるため、既に広大な敷地を利用して自主的に駐車場の営業活動をしている土地所有者がいる。土地所有者のこうした活動は収入源のひとつであり、生活の一部として手法も確立されたものであるため、シェアリングエコノミーに対する関心は低く協力を得る事は困難であった。また、高齢者が多いこともありインターネットを利用したプラットフォームの仕組みに抵抗感を感じる方も多かった。
- ・市民の、シェアリングエコノミーに対する認知度が0に近い状況であるため、突然訪問し立ち話での面会の中で登録の了承を得ることは困難だった。
- ・平日の日中に訪問しても不在の場合が多く、複数回の訪問が必要であった。
- ・「広報紙に掲載されている」「総務省のモデル事業」「犬山市が進めている事業」「観光協会が委託を

受けている」などという説明は安心感を与える一方、駐車場を「犬山市に貸す」「観光協会に貸す」という誤解につながることもあった。あくまでも土地を貸し出すのは土地所有者であり、借りるのは犬山市でも観光協会でもプラットフォームでもなくサービス利用者であることを理解してもらうことが難しく、繰り返しの説明が必要な場面があった。

- ・土地所有者の大半の方についてはシェアリングエコノミーの取組みに理解をいただき、総論としては賛成という印象だった。ただし、実際に登録するとなると、シェアリングエコノミーの認知度の低さや周辺実績が無いことが影響し、登録に至らない事例が多かった。
- ・多くの月極駐車場は、日中は駐車されていないものの契約は埋まっているケースが多かった。管理者の了解さえとれば軒先パーキングの利用は可能なため、転貸を認める柔軟な契約形式の普及が必要。
- ・大規模駐車場の管理者の多くは事業所等であり、駐車場登録によって得られるわずかな利益と、事故などトラブルが発生した際に必要となる人手と時間、それによって生じる本業への影響を比較し、リスクを懸念した結果、登録を見送る事例が多かった。
- ・事故などが起こった際は、当事者同士の対応になることを説明し、サービス利用のリスクを理解してもらった上で登録してもらうよう促し、収入増を第一に掲げるような強引な営業活動は行わなかった。リスクを理解してもらうことを重視したため、登録を躊躇する土地所有者もいた。
- ・共有や分筆などにより土地の所有状況が複雑化しており、複数の土地所有者の同意が必要なため、登録に至らない事例が多かった。

(4)各種研修会及び説明会

①成果

- ・参加者の中から実際に駐車場の登録に至ったケースがあった。
- ・金融機関からは、店舗内でチラシの配架やポスターの設置によるPR協力に関する提案があった。
- ・市内の特定郵便局からも、休業日のみであれば駐車場を本事業で活用できる可能性があるという提案があった。
- ・青年会議所には若い世代の経営者が多く、ITリテラシーも高いため、本事業の目的や仕組みに対する理解が早かった。
- ・市内の金融機関等は観光地周辺など好立地な店舗も多いため、観光客や近隣住民等による無断駐車に悩まされていることが多い。駐車場シェアの仕組みが、そうした問題への対策になる可能性がある。

②課題

- ・一般住民を対象としたサービス提供者向け説明会について広報紙で周知したが、まだまだ市内におけるシェアリングエコノミーそのものの認知度が低く関心が薄いため、説明会を開催しても参加者が少なかった。
- ・青年会議所を対象にした説明会では、空きスペースの駐車場活用よりビジネス的な用途利用に対する関心が高かった。同プラットフォームが提供する「軒先ビジネス」のように、商業的活動に関連するシェアリングエコノミーサービスの説明から始めるなど、対象者に応じて柔軟な提案ができるとより効果的であると考える。

- ・プラットフォームによると、金融機関は主たる業務以外で収益をあげてはいけないという銀行法等の縛りがあるとのことである。現在、銀行でコインパーキングなどを導入している事例は迷惑駐車対策などを目的に導入しているものであり、運営も銀行の子会社に委託しているような実情があるとのことである。銀行にシェアリングエコノミーの仕組みを導入するには、銀行法に抵触しないようなスキームの検討が必要である。
- ・事業者から本事業の仕組みを導入した際には、第三者の悪質な無断駐車により本来予約して使えるはずだった人が使えないというリスクがあるため、協力は難しいという意向があった。

(5)事業全体

①KPI

	提案時の数値目標	実績値 (H31. 2月末時点)
駐車場登録件数	5件	5件(16台)
延べ利用台数	50台	74台
総利用料	—	45,100円

②成果

- ・まだ件数は少ないが、犬山市内に存在する空きスペースの有効活用と、土地所有者の収入増加につながった。
- ・本事業の実施により、犬山市内における駐車場シェアに関する他プラットフォームの展開が活発化した。他プラットフォームの普及であっても、犬山市の観光に係る地域課題の解決に寄与することとなる。
- ・現状、犬山市及び犬山市観光協会が新規で駐車場を整備することは財政的に難しいが、その中でも観光課題に取り組む姿勢を市民に示すことができた。
- ・公共駐車場と比較すると、サービス利用者は事前予約が可能のため、現地で駐車場を探したり駐車場が空車になるまで待機したりする必要がない。サービス利用者を対象に実施したアンケートの中でも、「満車で駐車場を探すことがない」や「予約できたので安心だった」など、事前予約のメリットを実感した声があった(34頁参照)。またサービス提供者は初期投資が不要なため、経済的な負担無しですぐにサービスを始めることができる。
- ・地域情報化アドバイザー制度を活用し、シェアリングエコノミー伝道師が実際に現地を視察。現在の課題について担当者にヒアリングを行った上で、適切なアドバイスを受けることができた。
- ・2月に市内で開催されたマラソン大会の日には、登録されている全ての駐車場が予約された。

③課題

- ・土地所有者は高齢者が多く、インターネットを利用したプラットフォームの仕組みや個人情報の登録に抵抗感を示す方が多かったため、取組みに対する理解は得られても登録まで至らないケースがあった。プラットフォームに対する抵抗感を払拭する工夫が必要。
- ・インターネットを利用したプラットフォームの仕組みに抵抗感が少なく順応も早いのは若い世代に多いが、そういった世代にアプローチしようとしても関われる場が少ないという課題があ

る。若い世代への有効なアプローチ方法の検討が必要。

- ・これまで使っていなかった私有地をシェアリングエコノミー型の駐車場として活用することで、固定資産税が上がったり住宅用地の軽減を受けられなくなったりするなど税制上の問題を懸念し躊躇するケースがあった。犬山市税務課の見解では、具体的な事例は現時点で確認していないが、住宅と駐車場等を明確に区分するような構造物等がなく、常時駐車場として利用されていないのであれば、従前地目のまま課税することになるとのことだった。

4. 各種調査結果と結果分析

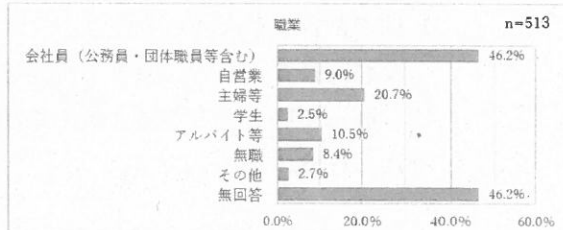
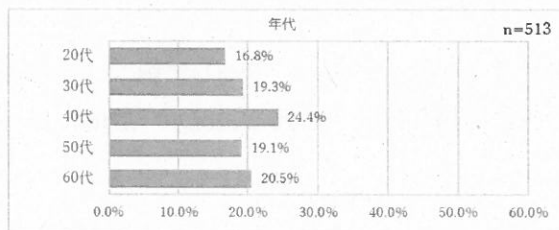
(1) Web アンケートによるニーズ調査結果

①概要

- ・犬山市における、シェアリングエコノミーを活用した駐車場に関するニーズを調査するため、東海三県（愛知県、岐阜県、三重県）から犬山市を訪れた経験のある20～60歳代の500人を募集（実数は513）し、全12問構成のWebアンケートを実施。
- ・三県の回答数は、それぞれの性比率、人口比率（【参考】愛知県：約750万人、岐阜県：約200万人、三重県：約180万人）、世代別人口割合に依存。

②回答者属性

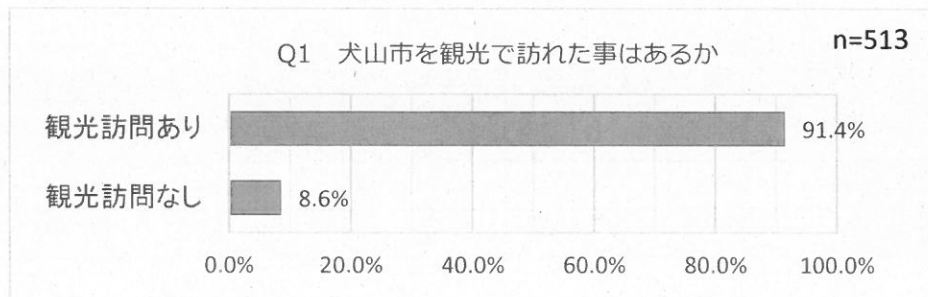
- ・三県の回答者の比率は愛知県が66.1%、岐阜県が17.7%、三重県が16.2%。
- ・年代別では40歳代が最も多く、次いで60歳代、30歳代、50歳代、20歳代の順。
- ・職業別では会社員が最も多く、次いで主婦等、アルバイト等、自営業の順。



②調査結果

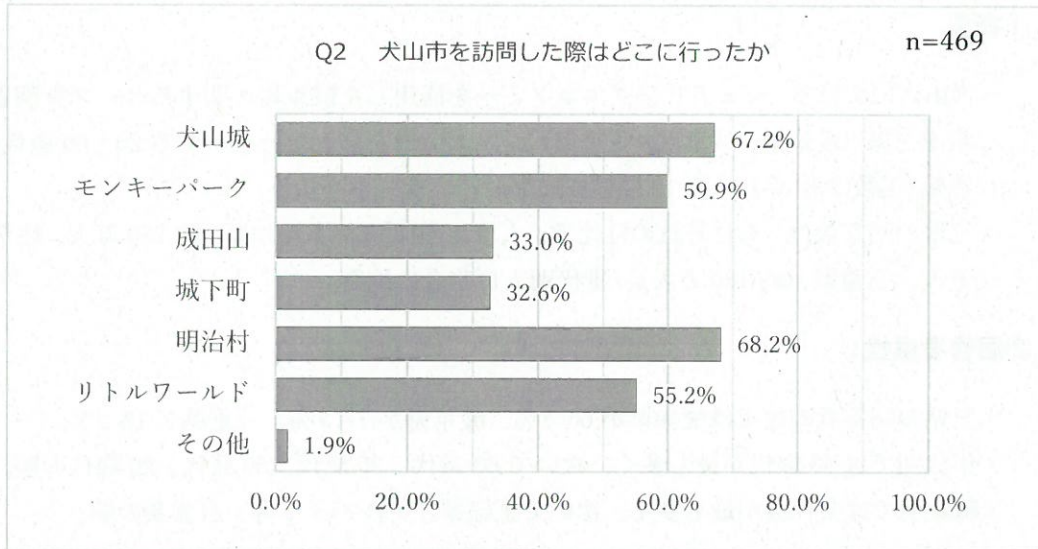
【犬山市への観光訪問経験】

犬山市を観光で訪れたことがあるかという問いには、91.1%が「ある」と回答していることから、回答者の9割以上が観光目的で犬山市を訪れていることが分かる。



【犬山市での訪問先】

犬山市を観光で訪れた際の訪問先については、「明治村」が68.2%と最大で、次いで「犬山城」が67.2%と多い。一方「城下町」は32.6%と、他の観光施設と比較すると低い結果が出た。



犬山城を訪れた人のうち、43.8%が城下町を同時に訪れている一方、城下町を訪れた人のうち90.2%は犬山城を訪れている。

また、犬山城か城下町いずれかを訪れた人は70%という結果になった。これはいずれの観光地の割合をも上回っている。

なお回答者469人に対して全回答者数は1,492人であり、平均して約3.2か所の観光地に足を運んでいることから、犬山来訪の際には複数観光地を巡る状況が一般的になっていると考えられる。

▼犬山城を訪れた方が、他に訪れた場所

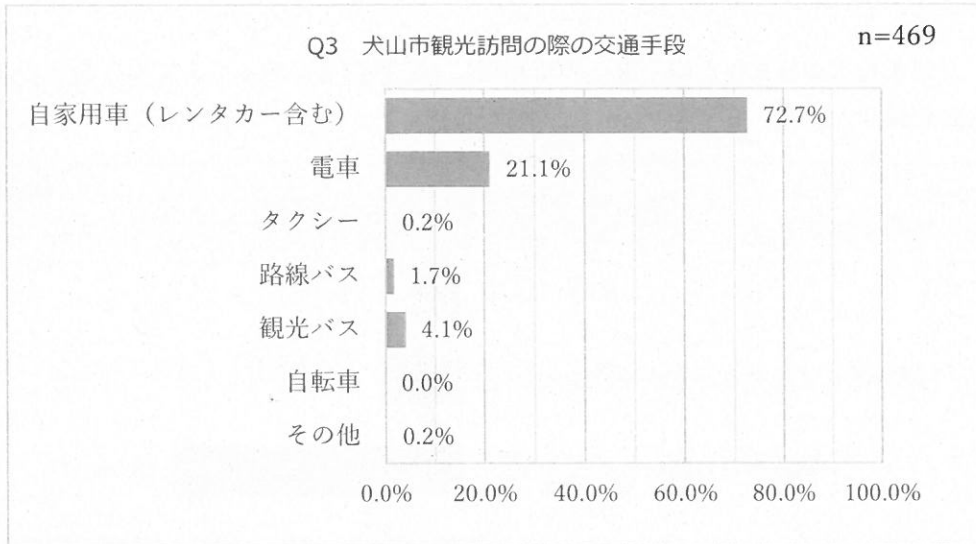
	モンキーパーク	成田山	城下町	明治村	リトルワールド	その他
回答数	194	129	138	213	168	4
割合	61.6%	41.0%	43.8%	67.6%	53.3%	1.3%

▼城下町を訪れた方が、他に訪れた場所

	犬山城	モンキーパーク	成田山	明治村	リトルワールド	その他
回答数	138	87	80	106	85	5
割合	90.2%	56.9%	52.3%	69.3%	55.6%	3.3%

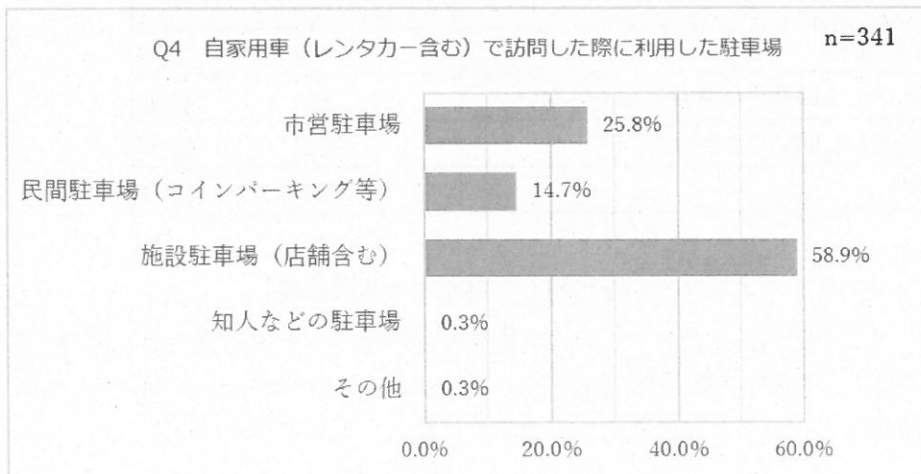
【来訪時の交通手段について】

犬山市への交通手段については、「車」が72.7%と大半を占め、次いで多い「電車」の21.1%に大きく差をつけている。複数の観光地を訪れるということからも、より移動が容易な「車」が選ばれていると思われる。



【車利用時の駐車場について】

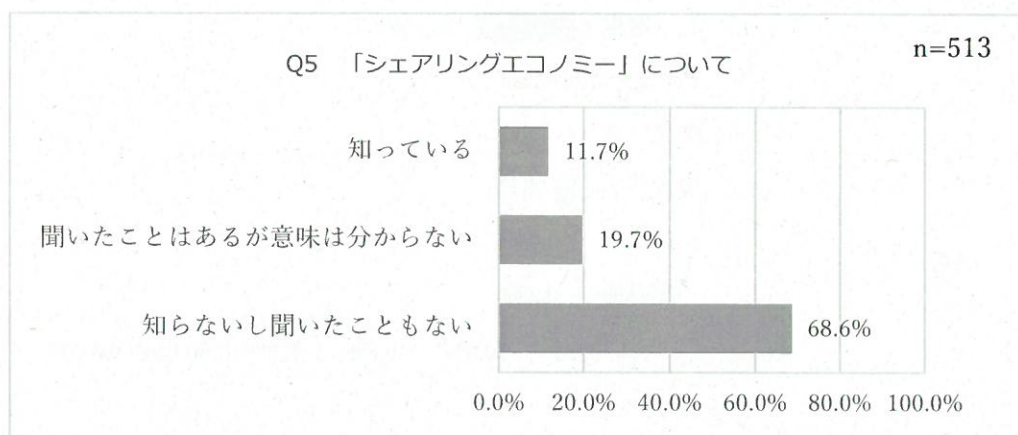
車利用時の駐車場については、「施設駐車場」の58.9%が最も多く、次いで「市営駐車場」が25.8%となった。



【シェアリングエコノミーについて】

シェアリングエコノミーについて、「知らないし聞いたこともない」という回答が68.6%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが意味は分からない」が19.7%であり、合計が88.3%と全体の8割を超えることから、まだまだシェアリングエコノミーの知名度は低いことが伺える。

対象を犬山城または城下町への車利用による来訪者に絞ってみても、全体の認知度と大きな差はない。



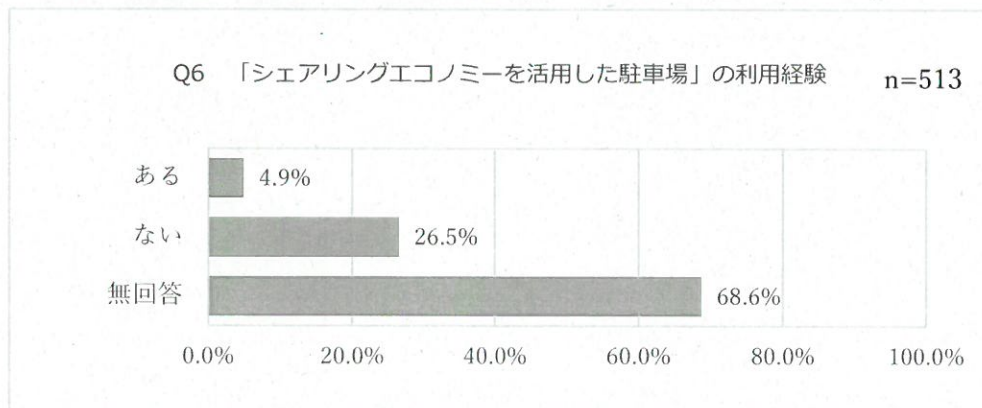
▼犬山城または城下町を車で訪問した人の、シェアリングエコノミーに関する認知度

シェアリングエコノミーの認知度	回答数	割合
知っている	36	12.2%
聞いたことはあるが意味は分からない	67	22.6%
知らないし聞いたこともない	193	65.2%
合計	296	100.0%

【シェアリングエコノミーを活用した駐車場の利用経験】

シェアリングエコノミーによる駐車場利用経験について、「ある」と回答したのは4.9%に過ぎず、「ない」が26.5%だった。

対象を犬山城または城下町への来訪者に絞っても大きな差はなかった。



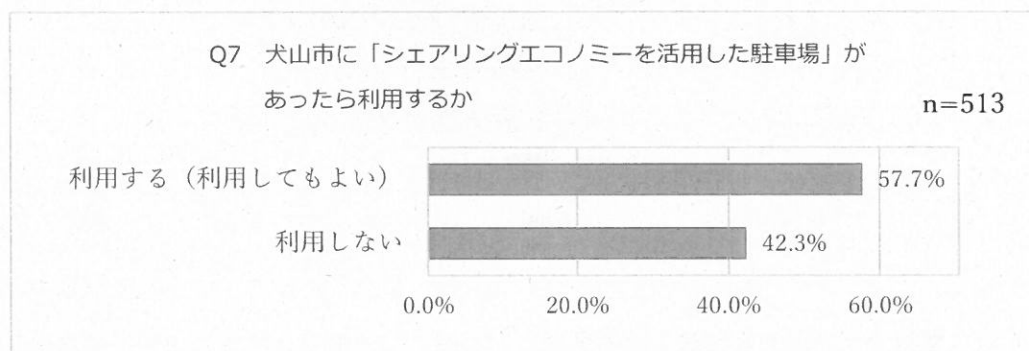
▼車で犬山城または城下町を訪問した人で、シェアリングエコノミーを活用した駐車場を利用した経験

シェアリングエコノミーを活用した駐車場の利用経験	回答数	割合
利用したことがある	16	5.4%
利用したことがない	87	29.4%
無回答	193	65.2%
合計	296	100.0%

【シェアリングエコノミーを活用した駐車場の利用意向】

今後、犬山市にシェアリングエコノミーの駐車場が普及した場合に、「利用する」と回答した人が 57.7%と全体の過半数を超えていることから、利用が広がる見込みはあると思われる。

対象を犬山城または城下町への来訪者に絞ると、「利用する」が 64.9%と全体の回答よりも高くなることから、本事業の展開において期待の持てる数値である。



▼車で犬山城または城下町を訪問した人で、シェアリングエコノミーを活用した駐車場に対する利用意向

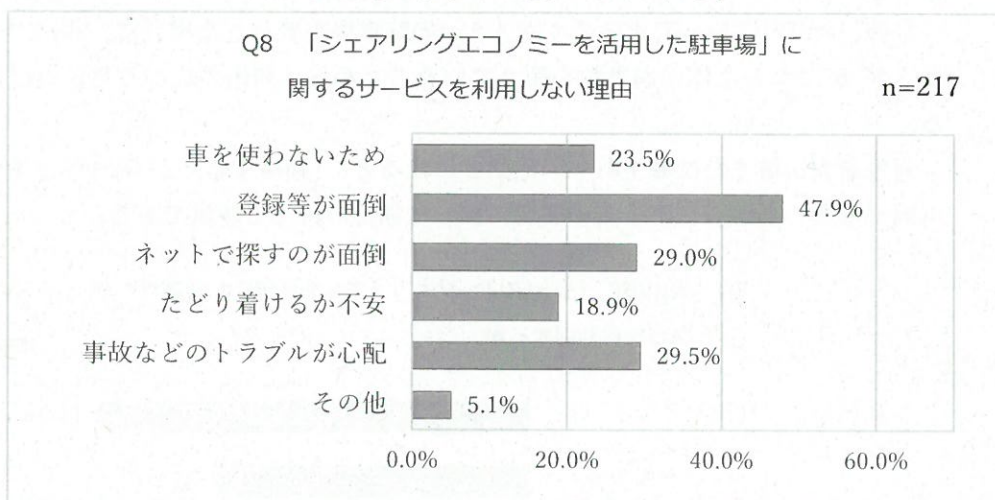
シェアリングエコノミーを活用した駐車場の利用意向	回答数	割合
利用する	192	64.9%
利用しない	104	35.1%
合計	296	100.0%

【シェアリングエコノミーを活用した駐車場を利用しない理由】

シェアリングエコノミー駐車場を「利用しない理由」としては、「登録等が面倒」が47.9%で最も多く、次いで「事故などのトラブルが心配」が29.5%、「ネットで探すのが面倒」が29.0%、「たどり着けるか不安」が18.9%となり、積極的な理由で利用しない訳ではなく、心理的な煩わしさや不安感が普及の大きな障害になっていることが分かる。

そのためそうした心理的な問題が解消できれば、より効率的にサービスの利用を促進できる可能性がある。

対象を犬山城または城下町への来訪者に絞ると、「登録等が面倒」では15.6%、「ネットで探すのが面倒」で7.5%高くなっていることから、登録に関するサポートの充実や、プラットフォーム利用に対する抵抗感の払拭が必要だと思われる。

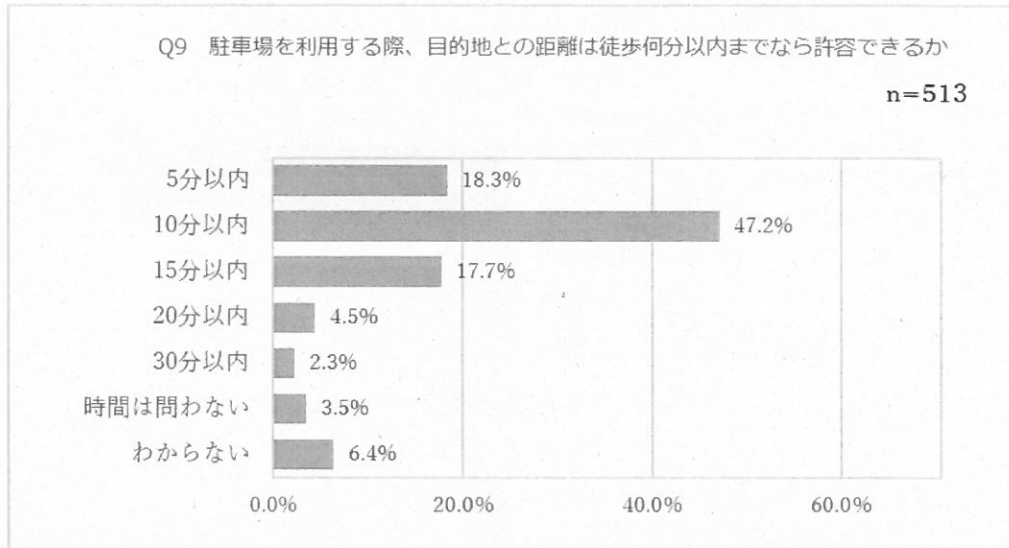


▼車で犬山城または城下町を訪問した人が、シェアリングエコノミーを活用した駐車場を利用しない理由

シェアリングエコノミーを活用した駐車場を利用しない理由	回答数	割合
車を使わないため	4	3.8%
登録等が面倒	66	63.5%
ネットで探すのが面倒	38	36.5%
たどり着けるか不安	15	14.4%
事故などのトラブルが心配	29	27.9%
その他	6	5.8%
合計	158	-

【目的地と駐車場までの時間距離】

目的地と駐車場の時間距離については、「10分以内」の47.2%が最も多く、「5分以内」を含めた「5～10分以内」とすると65.5%となる。次いで「15分以内」が17.7%であり、先の「5～10分以内」をあわせた「5～15分以内」で83.2%となる。対象を犬山城または城下町の来訪者に絞った場合も割合に大きな差はない。



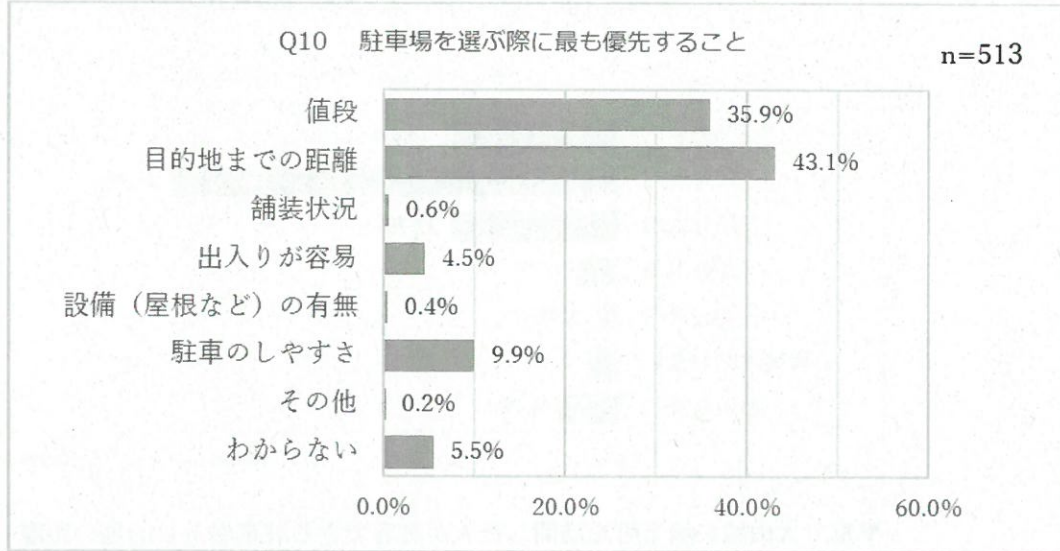
▼車で犬山城か城下町を訪問した人が許容できる駐車場と目的地の距離

駐車場までの距離(徒歩)	回答数	割合
5分以内	62	20.9%
10分以内	144	48.6%
15分以内	51	17.2%
20分以内	12	4.1%
30分以内	8	2.7%
時間は問わない	8	2.7%
わからない	11	3.7%
合計	296	100.0%

【駐車場を選択する優先事項】

駐車場の優先事項については、「目的地までの距離」の43.1%と、「値段」の35.9%の2項目が突出している。

犬山城及び城下町への車で訪れる者についてもほぼ同じ傾向が見られることから、適正な距離に適正な料金のシェアリングエコノミーを活用した駐車場を確保できれば一定の、駐車場利用の可能性を見込むことができると考える。



▼車で犬山城または城下町を訪れた人が、駐車場を選ぶ際に最も優先すること

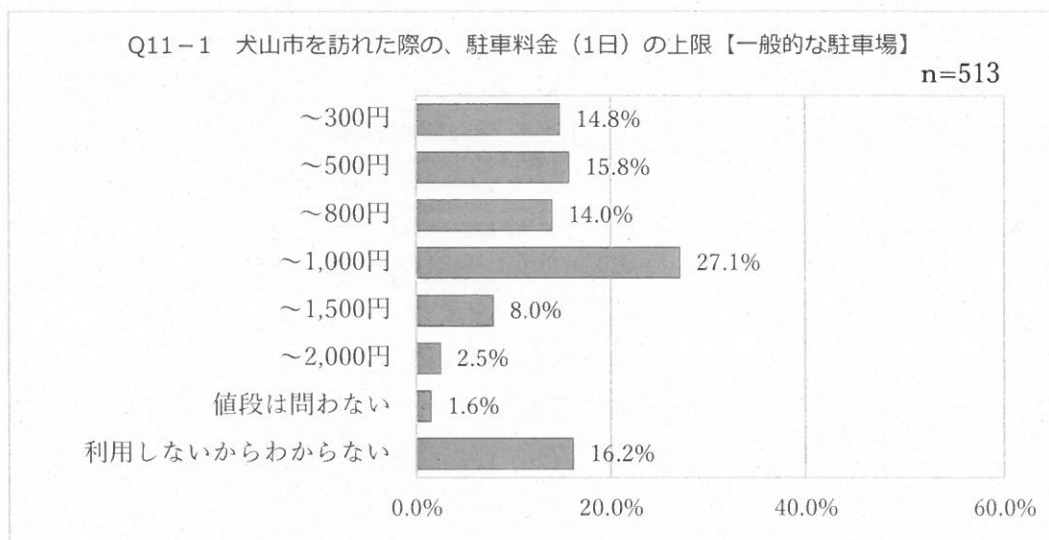
駐車場を選ぶ際に最も優先すること	回答数	割合
値段	108	36.5%
目的地までの距離	140	47.3%
舗装状況	2	0.7%
出入りが容易	11	3.7%
設備(屋根など)の有無	1	0.3%
駐車しやすい	24	8.1%
その他	0	0.0%
わからない	10	3.4%
合計	296	100.0%

【一般的な駐車場の場合】

一般的な駐車場における1日の上限金額としては、「1,000円まで」が27.1%と最も多く、次いで「500円まで」が15.8%となり、「300円～1,000円まで」で71.7%となる。

これに「1,500円まで」を加えると79.7%でほぼ8割が該当する。

犬山城または城下町への来訪者で見ると、「1,500円まで」が88.5%となり約9割近くの回答者が、一般的な駐車場料金について1,500円以内と考えていることが分かる。



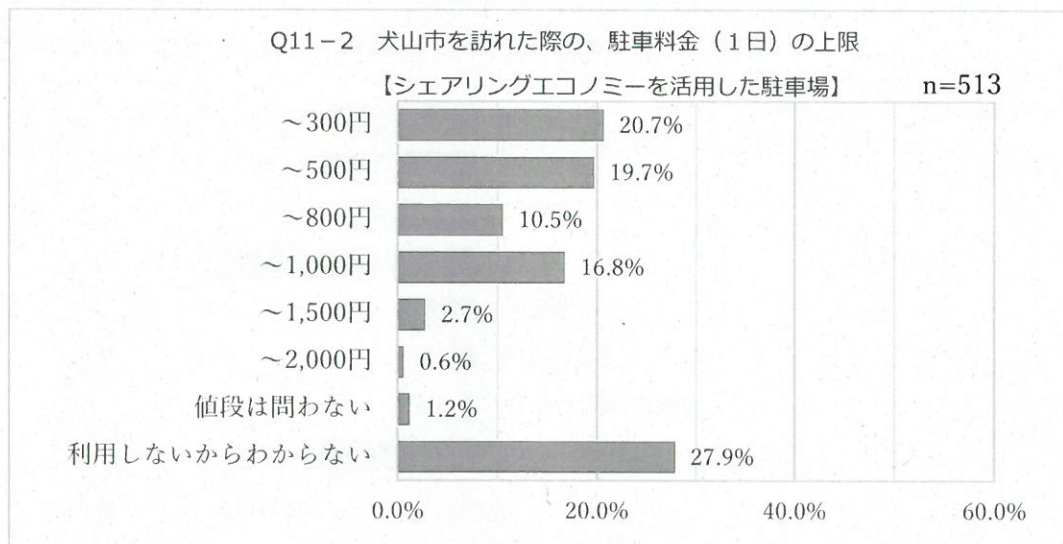
▼車で犬山城または城下町を訪れた人の、一般的な駐車場に関する費用（1日）の上限

駐車場料金（一般的な駐車場）	回答数	割合
～300円	50	16.9%
～500円	51	17.2%
～800円	48	16.2%
～1,000円	89	30.1%
～1,500円	24	8.1%
～2,000円	5	1.7%
値段は問わない	7	2.4%
利用しないからわからない	22	7.4%
無回答	296	100.0%

【シェアリングエコノミーを活用した駐車場の場合】

シェアリングエコノミーを活用した駐車場における1日の上限金額としては、「300円まで」が20.7%で最も多く、「300円～1,000円まで」で67.7%となる。これに「1,500円まで」を加えると70.4%で7割が該当する。

対象を犬山城または城下町を訪れた方に絞ると、「300円まで」が最も多く、「300円～1,000円まで」を加えると、72.9%を占める。



▼犬山城または城下町を訪れた人の、シェアリングエコノミーを活用した駐車場に関する費用（1日）の上限

駐車場料金(シェアリングエコノミーを活用した駐車場)	回答数	割合
～300円	65	22.0%
～500円	62	20.9%
～800円	33	11.1%
～1,000円	56	18.9%
～1,500円	6	2.0%
～2,000円	2	0.7%
値段は問わない	5	1.7%
利用しないからわからない	67	22.6%
無回答	296	100.0%

(2)説明会参加者アンケート調査結果

①概要

・説明会に参加した市民、市内金融機関、犬山商工会議所、犬山青年会議所を対象にアンケート調査を行った。それぞれの回答数は以下のとおりである。

- ・市民(事業者含む) : 6
- ・市内金融機関、犬山商工会議所 : 11
- ・犬山青年会議所 : 8

②調査結果

- ・シェアリングエコノミーへの理解度について、無回答1人以外は全員が「理解できた」と回答している。また駐車場シェアについても、無回答1人以外は全員が「理解できた」と回答しており、説明会を開催することで理解度の向上につながった。
- ・シェアリングエコノミー及び駐車場シェアに対する関心度も高く、半数以上が情報提供を希望している。
- ・自由意見では「市の課題解決に貢献したい」や「取引先への紹介を検討したい」という前向きな声がある一方、制度の普及による新たな渋滞問題の発生を懸念する声や、個人情報との関係で協力は難しいとの声があった。

(3)サービス提供者(土地所有者)調査結果

①概要

・軒先パーキングに駐車場を登録した土地所有者2名にアンケートを実施した。

②調査結果

- ・軒先パーキングに登録したことによる満足度については「満足」と「不満足」に分かれた(理由は不明)。
- ・本事業を通して、利用者との交流や交友関係の拡大など、対価以外に得られたものについては「ない」という回答だったが、どちらも駐車場を提供することで人(地域)の役に立つ充実感や、やりがい、生きがいを感じると回答しており、今後も登録の継続を希望している。

(4)サービス利用者調査結果

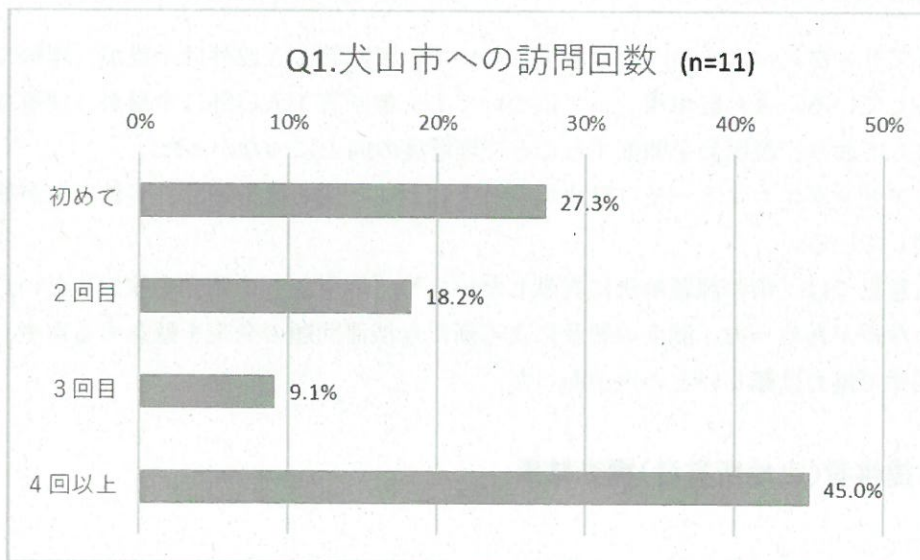
①概要

- ・登録駐車場の利用者 55 人に対し、軒先株式会社からアンケートを送付。設問数は 13 問(分岐含む)で、11 人から回答を得た。

②調査結果

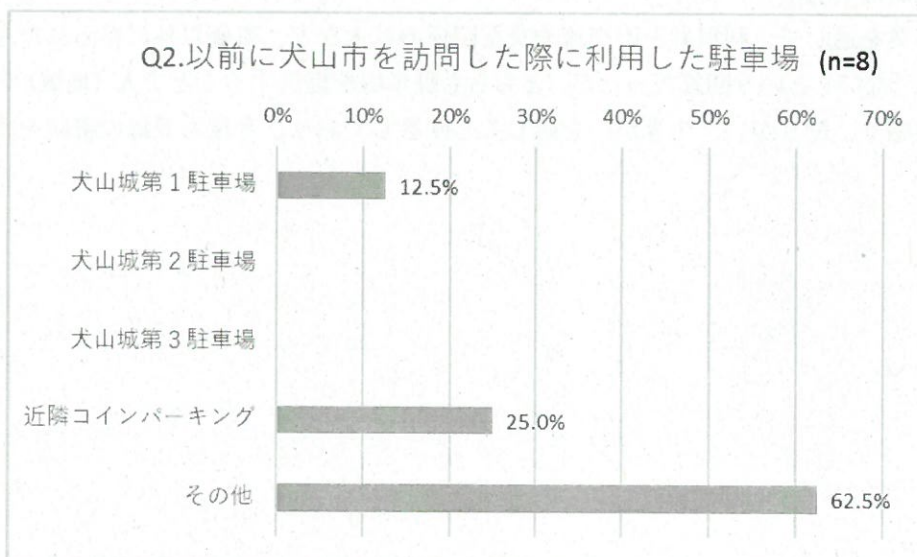
【犬山市への訪問回数】

「4回以上」の方が45.0%と最も多く、リピーターが一定数いることが伺える。



【以前に犬山市を訪問した際に利用した駐車場】

公共駐車場では犬山城第1駐車場であるキャッスルパーキング以外の利用はない。その他の駐車場については、記述による以下の回答が得られた。

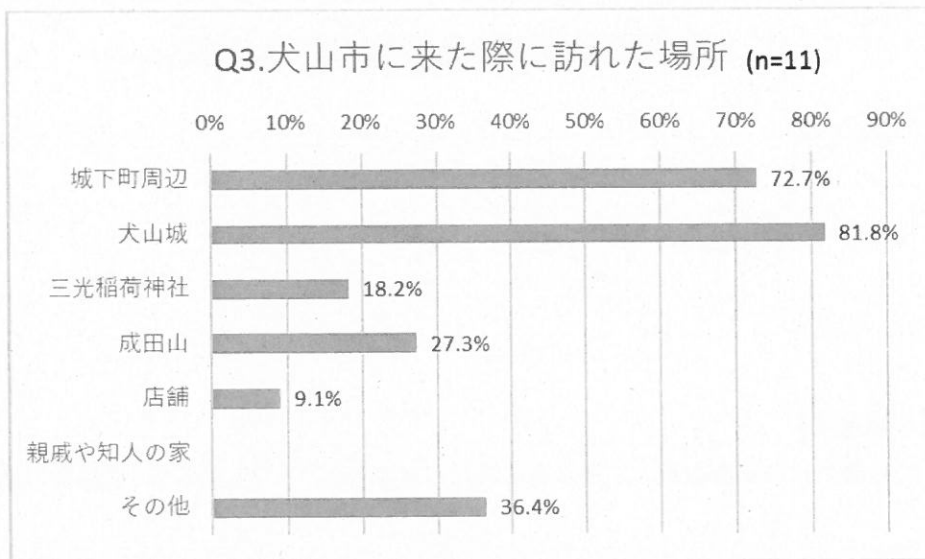


▼「その他」を選択した回答者の記述

- ・お菓子の城
- ・成田山
- ・明治村 モンキーパーク
- ・今は成田山の駐車場になっているが、以前は犬山城観光の無料駐車場だったところ

【犬山城に来た際に訪れた場所】

犬山城または城下町が主な訪問先である。また、どちらかを訪れた人は回答者の90.9%である。

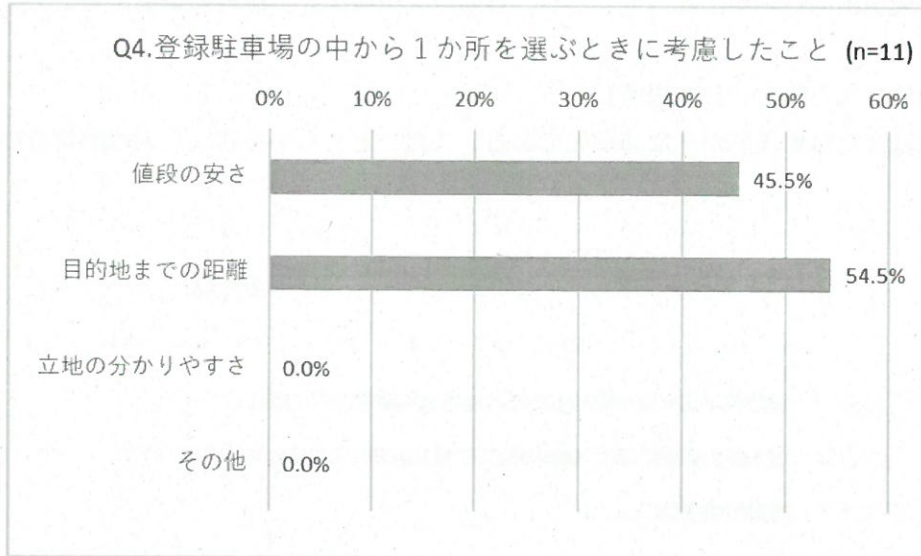


▼「その他」を選択した回答者の記述

- ・お菓子の城
- ・犬山マラソン
- ・モンキーパーク
- ・コンサート

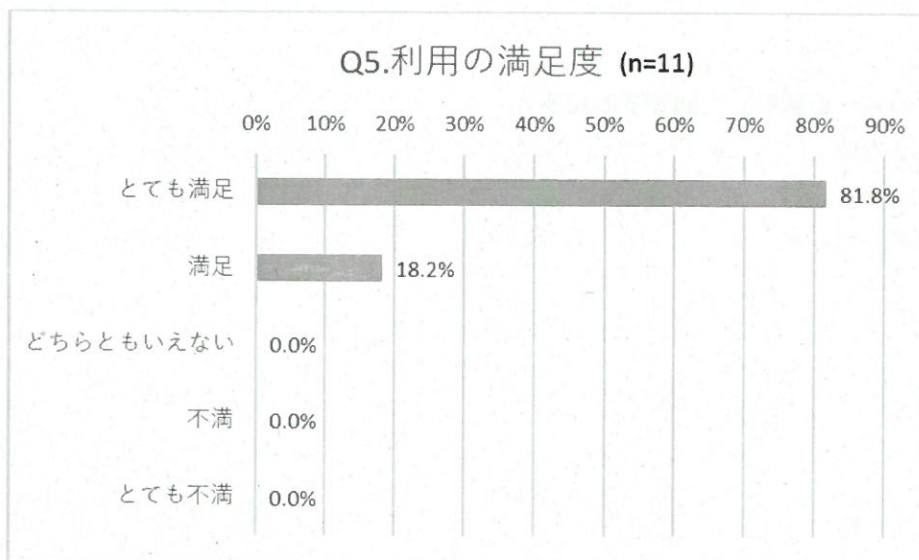
【登録駐車場の中から1か所を選ぶ際に考慮したこと】

回答が「値段の安さ」と「目的地までの距離」の2項目のみである。幹線道路の沿線上でないなど多少立地が分かりにくくても、値段と距離が適正であれば一定の利用は見込められると思われる。



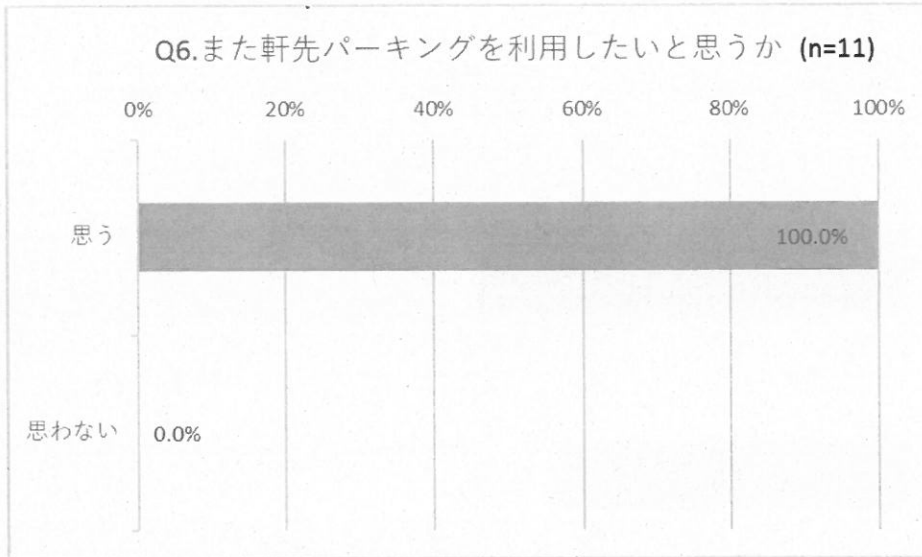
【利用の満足度】

「とても満足」が8割を超え、残りも「満足」という回答であるため、利用者の満足度は高い。



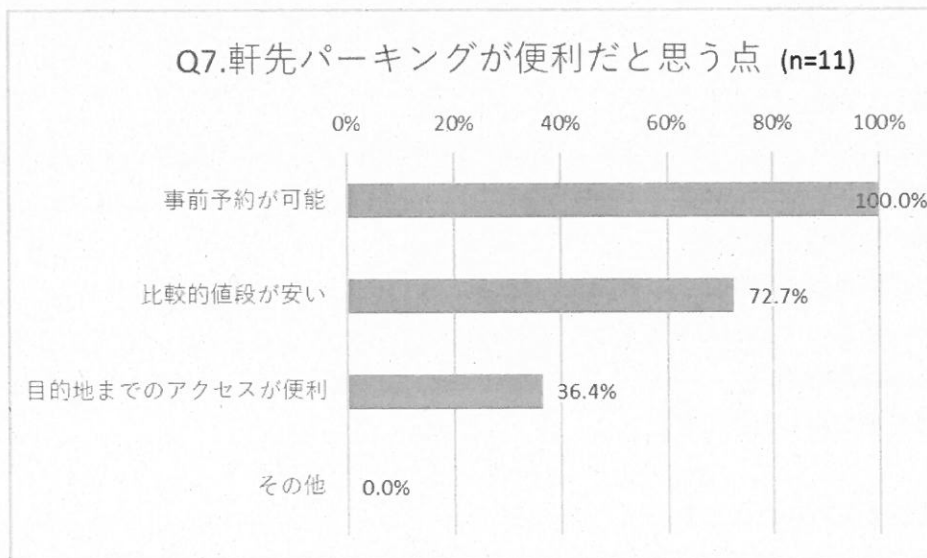
【軒先パーキングの再利用意向】

回答者全員が「思う」と答えていることから、サービス再利用の意向は高いことが分かる。



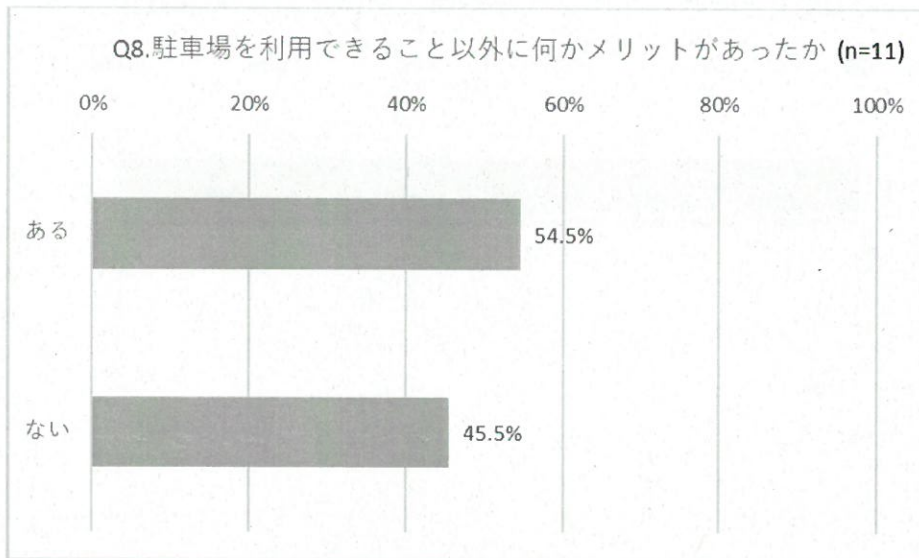
【他の駐車場と比べて軒先パーキングが便利だと思う点】

回答者全員が「事前予約が可能」と回答しており、次いで「比較的値段が安い」と回答している人が72.7%いることから、近隣駐車場と比較して適正な値段設定で駐車場を登録することが、利用率増加に寄与すると思われる。



【駐車場利用以外でのメリット】

半数以上の回答者が駐車場以外の副次的なメリットを感じている。詳細な記述回答は以下のとおりであった。



▼記述回答

- ・初めての道を歩くことで、知らない店を知ることができた
- ・ゆっくりできた
- ・近隣は満車であったが、予約のおかげで停められた
- ・特になし（2人）

【利用して良かった点】

記述回答は下記のとおりであり、やはり事前予約ができることが大きなメリットであることが分かる。

- ・近隣の駐車場より安い
- ・満車で駐車場を探すことが無い
- ・予約できたので安心だった
- ・事前予約が有難い
- ・何回も車を出し入れできた

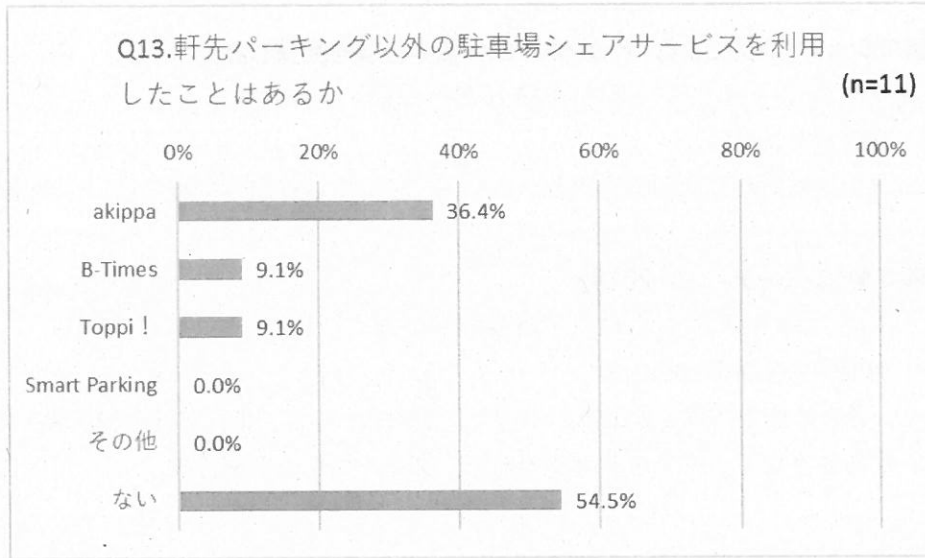
【改善点や気付いたこと】

改善点等については以下のとおりであり、駐車場へのアクセスや駐車場を示す目印等に関する記述回答が得られた。

- ・主要道路からのアクセス写真があるともっと分かりやすかった。また住所も載っていないのでナビに直接入力することができなかった。
- ・出来れば舗装などで車が汚れないようにしてほしい。
- ・値段が犬山城近くの方が安かった
- ・ちょっと不安になるので、目印になる表示がほしい
- ・特になし

【軒先パーキング以外の駐車場シェアサービスの利用率】

「akippa」の利用率が36.4%と高いが、半数以上が「ない」と回答している。



5. 駐車場シェア以外の取組み

(1)事業内容

子育て世代を対象に、子育て分野に関するシェアリングエコノミーサービスの紹介や活用を促進する「犬山版子育てシェアエコ・ミーティング」を下記のとおり、複数回にわたって開催した。

①「最新！子育て分野のシェアリングエコノミーサービス」

日時：平成30年9月18日(火) 午後1時30分～午後3時

場所：犬山市役所

講師：内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 石崎方規氏

内容：シェアリングエコノミーの仕組みを学び、積極的な活用方法を考える。

②「まちの掲示板SNS『マチマチ』の活用方法を考えてみよう！」

日時：平成30年10月30日(火) 午前10時～午前11時30分

場所：犬山市役所

講師：株式会社マチマチ 代表取締役CEO 六人部生馬氏

内容：住所を登録することで近隣に住んでいる人たちだけで交流や情報交換ができるSNS「マチマチ」の登録や操作を体験し、犬山市の子育てにどう活用できるか考える。

③「安心して子どもを預けられる託児サポート ～現在とこれから～」

日時：平成30年11月28日(水) 午前10時～午前11時30分

場所：犬山市役所

内容：ファミリー・サポート・センターやシルバー人材センターなど犬山市で活用できる託児

の仕組みを改めて知るとともに、子育て分野のシェアリングエコノミーサービスについて学ぶ。

④「子育てシェアリングできる、わが家のモノ・私の経験を発掘しよう」

日時：平成31年1月29日(火) 午前10時～午前11時30分

場所：東児童センター

内容：犬山市にあれば便利だと思われるシェアリングの仕組みや場について考える。

⑤「子育てタウンミーティング2018」

日時：平成31年2月17日(日) 午前10時～正午

場所：羽黒中央公園多目的広場

内容：自分の特技や経験を犬山市の子育てに活用し、子育て世代が社会で活動・活躍しやすくなるようなアイデアを共有するため、グループワークを行う。

6. 今後の展開

①個人宅等の小規模土地所有者に対する登録促進活動

本事業で戸別訪問を実施した地域において多くの個人宅規模の土地所有者が未訪問であるため、今後は個人宅等の小規模な駐車場の活用に向け活動を拡大すべきであると考えます。

そのため駐車場シェアに関する分かりやすい印刷物の配布や市民を対象にした継続的な説明会の開催によって、プラットフォーム利用に対する心理的な抵抗感を払拭できるようサポートしていくことが必要である。

②公共用地の利活用

本事業の説明を聞いた事業所等から「犬山市が率先して公共用地を駐車場として登録すべきではないか」という声があったが、法令上の問題等から本事業実施期間内で公共用地の登録を実現することはできなかった。

公共団体が実際に公共用地をプラットフォームに登録することができれば、土地提供者の信頼感の獲得にもつながるとともに、駐車場登録数増加のきっかけにも成り得る。また観光地周辺に立地している公共用地については、駐車場ニーズが高いと思われる用地も多く、登録することができれば一定の利用数が見込める可能性がある。

行政財産については本来の目的の利用を図ったうえでの利用に限られるが、今後も、公共用地を駐車場シェアの対象として利活用できる可能性について検討していく。

③きめ細かいサポート体制の整備

本事業実施期間内では対応事例がなかったが、利用マナーの悪いサービス利用者や無断駐車への対応など、トラブルが発生した場合のことを懸念する声は多かった。サービス提供者が安心して土地を提供できるよう、きめ細かいサポート体制の整備に向けて検討していく。

④集客が見込まれるイベント開催時における、プラットフォームとの情報共有

集客が見込まれるイベント時は駐車場ニーズが高くなるため、事前予約が可能なシェアリングエコノミーを活用した駐車場は比較的高い値段設定でも、利用者の予約が入る傾向がある。値段設定をプラットフォームに一任しているサービス提供者もいるため、事前に情報共有しておけば日頃よりも高い利用料で貸し出すことができる。

サービス提供者がイベントによって恩恵を受けられるという認識が広まれば、より広い範囲へのシェアリングエコノミーの普及も期待できる。

犬山市が取り組む『駐車場シェア』に 協力しませんか？



『駐車場シェア』って？

城下町周辺に存在する空きスペースを駐車場として活用することで、観光客への利便性向上や交通渋滞の緩和を図ります。

現状と対策



空きスペースを駐車場として、インターネット上で貸し出し

例



月極駐車場



空き地



分譲マンションの駐車場



土地所有者

- ・空きスペースの有効活用
- ・利用料による収入



地域住民

- ・渋滞の緩和



観光客

- ・事前予約による駐車場確保

総務省シェアリングエコノミーモデル事業

こんな方にオススメ！



ご自宅の駐車場

もう利用されていない駐車場や利用されていない空き時間での貸出もOK!



月極駐車場

契約者が決まるので外部貸して空き時間の有効活用



空き地

コインパーキングなど設備投資ができない場所や次の予定が決まるまでの短期間での外部貸して有効活用



商業施設駐車場

空いている時間帯の外部貸しやオプショんで予約できる駐車場へ



マンション駐車場

住民用の空いている駐車場を外部貸しとして有効活用また、住民の来客用としても活用可能

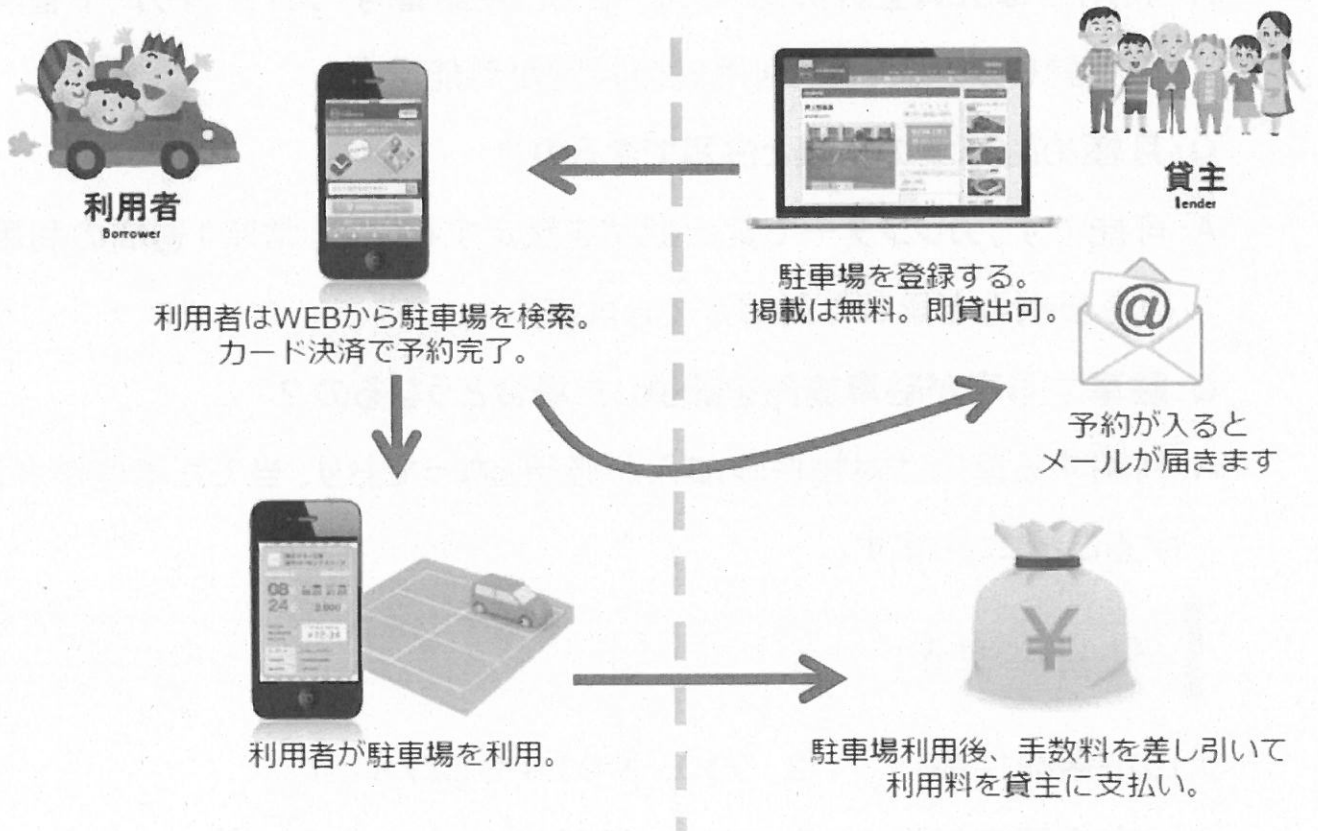


時間貸し / 機械式駐車場

有人管理の駐車場なら外部貸しも可能です。

駐車場シェア（軒先パーキング）の仕組み

駐車場シェアはインターネット上のサービスを利用して行います。
【例：軒先パーキング】



駐車場シェア（軒先パーキング）の特徴

- ・駐車場の登録は無料
- ・初期投資は不要
- ・開始や終了の時期、料金設定はいつでも可能
- ・予約の有無はメールで確認
- ・利用者は身元登録済のため安心
- ・貸出時間は自由（1日単位で設定）

Q & A（軒先パーキング）

Q: 知らない人に使われるのが心配なのですが・・・

A: 利用者は会員登録の際、氏名・住所・電話番号・クレジットカード番号を登録しているため、利用者の特定が可能です。

Q: 月極め駐車場の募集と併用できるの？

A: 可能です。カレンダーで貸出期間を設定するので、常時1週間の利用のみ受付など柔軟な対応ができます。

Q: 駐車する車が駐車施設を破損した場合どうなるの？

A: 利用する車には対物保険加入が必須となっており、当てた車側が弁償することになります。

問い合わせ先

犬山市観光協会 TEL 090-9913-1278

犬山市企画広報課 TEL 0568-44-0312

別添 2 : web アンケート設問内容

これまでに、犬山市を訪問されたことのある方にお聞きします。

設問数	内容	
Q1	犬山市への 来訪	愛知県犬山市を観光で訪れたことはありますか？ →「ある」と答えた方 Q2・Q3 へ →「ない」と答えた方 Q5 へ <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
Q2		その際はどこに行きましたか？(複数回答可) <input type="checkbox"/> 犬山城 <input type="checkbox"/> モンキーパーク <input type="checkbox"/> 成田山 <input type="checkbox"/> 城下町 <input type="checkbox"/> 明治村 <input type="checkbox"/> リトルワールド <input type="checkbox"/> その他 ()
Q3		その際の主な交通手段は何でしたか？ <input type="checkbox"/> 自家用車 (レンタカー含む) <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> 観光バス <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()
Q4		→Q3 で「自家用車」と答えた方 その際はどのような駐車場を利用しましたか？ <input type="checkbox"/> 市営駐車場 <input type="checkbox"/> 民間駐車場 (コインパーキング等) <input type="checkbox"/> 施設駐車場 (店舗含む) <input type="checkbox"/> 知人などの駐車場 <input type="checkbox"/> その他 ()
Q5	シェアリングエコノミーについて	「シェアリングエコノミー」を知っていますか？ <input type="checkbox"/> 知っている <input type="checkbox"/> 聞いたことはあるが意味は分からない <input type="checkbox"/> 知らないし聞いたこともない
Q6	シェアリングエコノミーを活用した駐車場について	「シェアリングエコノミーを活用した駐車場 ^{*1} 」のサービスを利用したことがありますか？(犬山市外での利用も含む) <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
Q7		「シェアリングエコノミーを活用した駐車場 ^{*1} 」には事前予約が可能などのメリットがありますが、犬山市にそうした駐車場があったら利用しますか？ <input type="checkbox"/> 利用する <input type="checkbox"/> 利用しない
Q8		→Q6 で「利用しない」と答えた方 その理由は何ですか？(複数回答可) <input type="checkbox"/> 車を使わないため <input type="checkbox"/> 登録等が面倒 <input type="checkbox"/> ネットで探すのが面倒 <input type="checkbox"/> たどり着けるか不安 <input type="checkbox"/> 事故などのトラブルが心配 <input type="checkbox"/> その他 ()
Q9	駐車場までの距離	観光で犬山市を訪れ駐車場を利用する際、目的地との距離は徒歩何分以内までなら許容できますか？ <input type="checkbox"/> 5分以内 <input type="checkbox"/> 10分以内 <input type="checkbox"/> 15分以内 <input type="checkbox"/> 20分以内 <input type="checkbox"/> 30分以内 <input type="checkbox"/> 時間は問わない

Q10	駐車場を選択する優先事項	駐車場を選ぶ際、最も優先することは何ですか？ <input type="checkbox"/> 値段 <input type="checkbox"/> 目的地までの距離 <input type="checkbox"/> 舗装状況 <input type="checkbox"/> 出入りが容易 <input type="checkbox"/> 設備（屋根など）の有無 <input type="checkbox"/> 駐車の手やすさ <input type="checkbox"/> その他（ ）
Q11	駐車場費用の上限	観光等で犬山市を訪れた際、駐車場に関する費用（1日）の上限はどれくらいですか？※2
Q11-1		【一般的な駐車場】 <input type="checkbox"/> ～300円 <input type="checkbox"/> ～500円 <input type="checkbox"/> ～800円 <input type="checkbox"/> ～1,000円 <input type="checkbox"/> ～1,500円 <input type="checkbox"/> ～2,000円 <input type="checkbox"/> 値段は問わない
Q11-2		【シェアリングエコノミーを活用した駐車場】 <input type="checkbox"/> ～300円 <input type="checkbox"/> ～500円 <input type="checkbox"/> ～800円 <input type="checkbox"/> ～1,000円 <input type="checkbox"/> ～1,500円 <input type="checkbox"/> ～2,000円 <input type="checkbox"/> 値段は問わない

回答者属性

Q00	属性について	お住まいの地域はどちらですか。差支えなければ市町村名等をお教えてください。 <input type="checkbox"/> 愛知県（ ）市・町・村 <input type="checkbox"/> 岐阜県（ ）市・町・村 <input type="checkbox"/> 三重県（ ）市・町・村
		あなたの年代は <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代
		性別は <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
		職業は <input type="checkbox"/> 会社員（公務員・団体職員等含む） <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 主婦等 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> アルバイト等 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 （ ）

※1 「シェアリングエコノミーを活用した駐車場」とは

インターネット上のプラットフォームを介した事前予約制の駐車場で、クレジットカード等による電子決済で利用可能。事業所や個人が所有する空きスペースを駐車場として貸し出すため、近隣のコインパーキングよりも比較的安価で利用できるケースが多い。

※2 犬山市城下町周辺の市営駐車場料金を参考情報として欄外に記載する

犬山城第1駐車場 普通車1時間300円 1日最大1,800円
 犬山城第2駐車場 普通車1時間300円 1日最大1,800円
 犬山城第3駐車場 普通車1時間200円

別添3：10/26 説明会配布アンケート

本日は説明会に参加いただきありがとうございました。よろしければ以下のアンケートにご協力いただくようよろしくお願いいたします。

(該当する項目に○を付けてください。)

1. 本日の説明会について

①本日はどのような立場で参加されましたか。

1. 事業者	2. 個人	3. その他 ()
--------	-------	------------

②説明の内容はご理解いただけましたか。

▶シェアリングエコノミーについて

1. 理解できた	2. あまり理解できなかった	3. 全く理解できなかった
----------	----------------	---------------

▶駐車場シェアについて

1. 理解できた	2. あまり理解できなかった	3. 全く理解できなかった
----------	----------------	---------------

③説明の内容に関心が持てましたか。

▶シェアリングエコノミーについて

1. 関心が持てた	2. あまり関心が持てなかった	3. まだ何ともいえない
-----------	-----------------	--------------

▶駐車場シェアについて

1. 関心が持てた	2. あまり関心が持てなかった	3. まだ何ともいえない
-----------	-----------------	--------------

2. 今日の説明会を踏まえ、今後についてどのように考えていますか。【複数回答可】

①駐車場シェアへの協力を検討してもよい	②駐車場シェアへの協力はできない
1. 空いているスペースを有効活用したい	1. 駐車場の登録方法が難しい
2. 市の課題に協力することで地域に貢献したい	2. 個人情報の取扱いに不安がある
3. 収入が欲しい	3. 事故・設備破損等の対応に不安がある
4. 登録方法が簡単そうだった	4. 他人が土地を利用することに抵抗がある
5. その他	5. その他
()	()

3. 今後も情報提供を希望しますか。

1. 希望する → (任意) お名前： _____ 住所： _____ 電話番号： _____
2. 希望しない

4. 本日の説明会について感想や意見等がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

別添 4 : 12/21 説明会配布アンケート

本日は説明会に参加いただきありがとうございました。よろしければ以下のアンケートにご協力いただくようよろしくお願いいたします。

(該当する項目に○を付けてください。)

1. 本日の説明会について

①説明の内容はご理解いただけましたか。

▶シェアリングエコノミーについて

1. 理解できた	2. あまり理解できなかった	3. 全く理解できなかった
----------	----------------	---------------

▶駐車場シェアについて

1. 理解できた	2. あまり理解できなかった	3. 全く理解できなかった
----------	----------------	---------------

②説明の内容に関心が持てましたか。

▶シェアリングエコノミーについて

1. 関心が持てた	2. あまり関心が持てなかった	3. まだ何ともいえない
-----------	-----------------	--------------

▶駐車場シェアについて

1. 関心が持てた	2. あまり関心が持てなかった	3. まだ何ともいえない
-----------	-----------------	--------------

2. 今日の説明会を踏まえ、今後についてどのように考えていますか。【複数回答可】

①駐車場シェアへの <u>協力を検討してもよい</u>	②駐車場シェアへの <u>協力はできない</u>
1. 空いているスペースを有効活用したい	1. 駐車場の登録方法が難しい
2. 市の課題に協力することで地域に貢献したい	2. 個人情報の取扱いに不安がある
3. 利益につなげたい	3. 事故・設備破損等の対応に不安がある
4. 登録方法が簡単そうだった	4. 土地を駐車場として利用されることに抵抗がある
5. 取引先等に紹介したい	5. その他
6. その他 ()	()

3. 今後も情報提供を希望しますか。

1. 希望する	→ (任意) お名前 : _____
	機関・役職名 : _____
	電話番号 : _____
2. 希望しない	

4. 本日の説明会について感想や意見等がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

別添5：サービス提供者向けアンケート

駐車場シェアに関するアンケートのお願い
(駐車場登録者向け)

2019年1月17日

犬山市観光協会 シェアリングエコノミー推進担当

平素は駐車場シェアの取り組みにご協力いただき誠にありがとうございます。

実際にご登録いただいた方にアンケートを実施し、総務省へのフィードバックおよび市内の駐車場シェアを推進していく上での重要な資料とさせていただきたいと考えております。

ご多忙のところお手数ですが、以下のアンケートにご協力をお願い申し上げます。

駐車場シェア登録者アンケート

当てはまるものに○をご記入ください。

<質問1> 駐車場シェアサービスに登録したことによる満足度はいかがですか。

- ①かなり不満足 ②不満足 ③満足 ④かなり満足

<質問2> 今後も駐車場シェアを利用して駐車場の貸し出しを続けたいと思いますか。

- ①はい ②いいえ

<質問3> 現在利用中の駐車場シェアサービス(軒先パーキング)の仕組みについて改善してほしいことがあればご記入ください。

[]

<質問4> 駐車場シェアによって駐車場を提供することで、対価以外に得られたものがありますか。(複数回答可)

- ①利用者との対話が楽しかった ②自分の知識や経験を活用できた
③交友関係が拡大した ④利用者から有用な情報が得られた
⑤その他 []
⑥ない

<質問5> 駐車場シェアによって駐車場を提供することで、人(地域)の役に立つことの充実感を得られましたか。

- ①はい ②いいえ

<質問6> 駐車場シェアによって駐車場を提供することで、やりがいや生きがいを感じましたか。

- ①はい ②いいえ

ありがとうございました

犬山市が取り組む「シェアリングエコノミー」

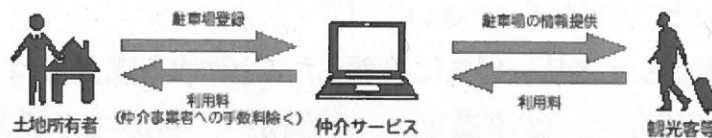
使用していない駐車場や空き地を、駐車場として貸し出しませんか

市では、個人等の「資産」(モノ、建物など)や「能力」(スキル、知識など)を他の個人等も有効に活用する「シェアリングエコノミー」の取り組みを推進しています。

●観光客等に対し、空きスペースを駐車場として貸し出す「駐車場シェア」

観光客による交通渋滞を緩和し観光地としての魅力向上や地域経済の活性化を図るため、空き駐車場や空き地を駐車場として貸し出すことができるインターネット上のサービスを利用し、空きスペースを所有している土地所有者と駐車場を探している観光客等をつなぐ仕組みを紹介します。

サービスを利用して土地の貸し出しを希望する土地所有者は、駐車可能台数や利用料など駐車場に関する情報を、インターネット上のプラットフォームに登録します。駐車場利用希望者は、氏名や住所、電話番号などの個人情報登録した上で駐車場を事前予約して利用します。



シェアリングエコノミーと駐車場シェアに関する説明会を開催します

シェアリングエコノミーと駐車場シェアに関する説明会を開催します。「自宅に使っていない駐車場や空き地がある」「平日は従業員の駐車場として使用しているが、土日は使用していないため空きスペースになっている」等利用を考えている人は、ぜひ参加してください。申し込みは不要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。

日時 10月26日(金)13:30~15:00 場所 福祉会館4階 中ホール
講師 内閣官房シェアリングエコノミー推進部 石崎方規氏 ほか
問合せ 企画広報課 (TEL44-0312)、市観光協会シェアリングエコノミー推進担当 (TEL090-9913-1278)

●駐車場シェア以外にもさまざまなシェアリングエコノミーの取り組みを始めています

① マチマチとの連携による情報発信

8月28日、市は地域SNS「マチマチ」活用による市民サービスの向上および地域課題の解決を図るため、株式会社マチマチと連携協定を締結しました。マチマチは居住地域から一定の範囲内に住んでいる人と実名で交流できるため、より生活に密着した情報交換が可能です。また今回の連携協定締結により、マチマチ上で広報犬山の閲覧ができるようになったほか、市の防災や子育てなどに関する幅広い分野の行政情報を得られるようになりました(登録は右記QRコードからできます)。



② 「犬山版子育てシェアエコ・ミーティング」を開催

子育て世代の女性が集まり、子育て分野に関連のあるシェアリングエコノミーのサービスについて学びます。

日時	場所	内容
10月30日(金) 10:00~11:30	市役所2階 202会議室	まちの掲示板SNS「マチマチ」の活用方法を考えてみよう!
11月28日(金) 10:00~11:30	市役所2階 202会議室	安心して子どもを預けられる託児サポート～現在とこれから～
1月29日(金) 10:00~11:30	東児童センター	子育てシェアリングできる、わが家のモノ・私の経験を発信しよう
2月17日(金) 10:00~12:00	エナジーサポートアリーナ (市体育館)	子育てタウンミーティング2019の開催

※上記内容は変更になる場合があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。

問合せ 子ども未来課 (TEL44-0322)

別添 7 : サービス利用者向けアンケート

設問番号	設問	回答欄
1	犬山市を訪れたのは何回目ですか。	①初めて ②2回目 ③3回目 ④4回以上
2	設問1で②～④を選択した方へ 以前に犬山市を訪れた際は、どこに駐車しましたか。	①犬山城第1駐車場【キャッスルパーキング(犬山城前広場横)】 ②犬山城第2駐車場【内田防災公園】 ③犬山城第3駐車場【犬山市役所】 ④近隣コインパーキング ⑤その他()
3	犬山市に来た際は、どこを訪れましたか。	①城下町周辺 ②犬山城 ③三光稲荷神社 ④成田山 ⑤店舗 ⑥親戚や知人の家 ⑦その他() (複数選択可)
4	犬山市内に複数登録されている軒先パーキング駐車場の中から、1カ所を選ぶ際に考慮したことは何ですか。	①値段の安さ ②目的地までの距離 ③立地の分かりやすさ ④その他()
5	今回利用された際の満足度はいかがでしたか。	①とても満足 ②満足 ③どちらともいえない ④不満 ⑤とても不満
6	犬山市を再訪する際は、また軒先パーキングを利用したいと思いますか。	①思う ②思わない
7	他の駐車場などと比べ、軒先パーキングの駐車場が便利だと思う点はどういったところですか。	①事前予約が可能 ②比較的値段が安い ③目的地までのアクセスが便利 ④その他() (複数選択可)
8	軒先パーキング登録駐車場を利用した際、駐車場が利用できること以外に何かメリットはありましたか。	①サービス提供者との交流が楽しかった ②サービス提供者から有用な情報が得られた ③交友関係が拡大した ④その他() ⑤特になし (複数選択可)
9	今回軒先パーキング登録駐車場を利用して、良かった点があればご記入ください。	自由記述
10	今回軒先パーキング登録駐車場を利用して、改善点や気付いたことなどがあればご記入ください。	自由記述
11	駐車場シェアに関して、軒先パーキング以外のサービスを利用したことはありますか。	①akippa ②B-Times ③Toppi! ④Smart Parking ⑤その他() ⑥ない (複数選択可)

